資料編

アンケート調査結果

調査の概要

目的

本調査では、区民の皆さんが環境について日ごろ感じていることや、日常生活の中での環境保全行動の取組状況、区の環境施策に対するご意見などをうかがい、これまでの環境施策の効果をはかり、今後の取組に役立てていくことを目的としています。

また、毎年アンケート調査を実施することで、区民の皆さんの意識変化を捉え、「目黒区環境基本計画」の改定や事業展開などの基礎・参考資料としていきます。

調査項目

1．現在のお住まいの環境について　　（問１～問４）
2．環境にやさしい行動の取組状況について　（問５～問９）
3．目黒区で行っている環境保全活動について　（問１０～問１６）

調査対象・調査方法・調査期間

●対象者

住民基本台帳から無作為抽出した、満１８歳以上の目黒区民　２,０００人

●調査方法

郵送調査法　（無記名回答式のアンケート調査票を郵送配付・郵送回収、電子回答）

●調査期間

２０２４（令和6）年5月２０日（月）から同年6月7日（金）まで

回収状況

発送数	郵送回収数	電子回答数	有効回答数 1)	有効回答率 2)
２,０００	３９８	１７０	５６８	２８.４%

1）回収したアンケート調査票のうち、自由記述を除き、属性に関する設問に１問以上回答し、かつ自由記述及び属性を除いた設問に対して、１問以上回答している場合を有効回答としました。
2）有効回答数 ÷ 発送数 × １００

結果の記載にあたっての注意事項

（1）「n」は有効回答数を表し、グラフは「n」をもととした百分率（%）で示します。
（2）百分率（%）の表示は、小数第２位を四捨五入しているため、比率の合計が１００%にならない場合があります。
（3）複数回答（複数の選択肢から２つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問は【複数回答】と表記しており、比率の合計が１００%を超える場合があります。
（4）図表中の選択肢の表記について、語句などを一部簡略化している場合があります。

標本誤差について

標本調査を行ったため、調査結果には統計上の誤差（標本誤差）が生じることがあります。本調査のように無作為抽出を用いた場合の標本誤差は、信頼度を９５%にした場合、次の計算式によって求められます。

$$標本誤差＝±2×\sqrt{\frac{N-n}{N-1}×\frac{p(1-p)}{n}}$$（N:母集団数、n:サンプル数（有効回答数）、p:回答比率）

※母集団数（令和６年５月１日現在の目黒区の１８歳以上の人口）は２４４，６０６人

今回の調査結果の標本誤差は以下のとおりです。

n ＼ 回答比率（p）	９０%または１０%程度	８０%または２０%程度	７０%または３０%程度	６０%または４０%程度	５０%程度
５６８	±２.５%	±３.４%	±３.８%	±４.１%	±４.２%
６００	±２.４%	±３.３%	±３.７%	±４.０%	±４.１%
５００	±２.７%	±３.６%	±４.１%	±４.４%	±４.５%
４００	±３.０%	±４.０%	±４.６%	±４.９%	±５.０%
３００	±３.５%	±４.６%	±５.３%	±５.７%	±５.８%
２００	±４.２%	±５.７%	±６.５%	±６.９%	±７.１%
１００	±６.０%	±８.０%	±９.２%	±９.８%	±１０.０%

【表の見方】

例えば、「お住まいの環境について、総合的に見てどのように感じていますか。」の設問に「良い」と回答した人は全体（n=５６８）の２９.９%（約３０%）でした。

この場合、標本誤差は±３.８%であるため、目黒区の１８歳以上の人で、「良い」と考えている人の割合は、標本誤差を補正すると、２６.１%から３３.７%の間にあることが、９５%の信頼度でいえることになります。

＜比較表＞

		満１８歳以上人口		調査対象者数		有効回答数		
		実数（人）	構成比（%）	対象者（人）	構成比（%）	回答数	構成比（%）	回答率※（%）
合計		２４４,６０６	１００.０	２,０００	１００.０	５６８	１００.０	２８.４
性別	男性	１１３,８２５	４６.５	１,０００	５０.０	２５５	４４.９	２５.５
	女性	１３０,７８１	５３.５	１,０００	５０.０	３１０	５４.６	３１.０
	無回答	－	－	－	－	３	０.５	－
年代別	１０･２０歳代	４１,６１３	１７.０	２９９	１５.０	４３	７.６	１４.４
	３０歳代	４２,７５５	１７.５	３１０	１５.５	５３	９.３	１７.１
	４０歳代	４６,６３９	１９.１	３８５	１９.３	１０３	１８.１	２６.８
	５０歳代	４３,０９４	１７.６	３６８	１８.４	１１２	１９.７	３０.４
	６０歳代	２６,８６０	１１.０	２４５	１２.３	９５	１６.７	３８.８
	７０歳以上	４３,６４５	１７.８	３９３	１９.７	１６２	２８.５	４１.２
	無回答	－	－	－	－	０	０.０	－

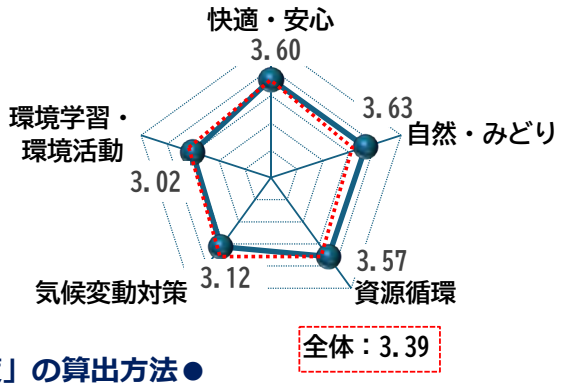
※ 有効回答数 ÷ 発送数 × １００

2024（令和6）年度調査結果

調査結果の概要

● 現在のお住まいの環境について（問１、問３）

●お住まいの環境について、５つの分野においてそれぞれ項目を設定し、満足度を聞いたところ、「自然・みどり」の分野に対する満足度が最も高く、「快適・安心」、「資源循環」の分野に対しては、全体の平均より満足度が高くなっています。

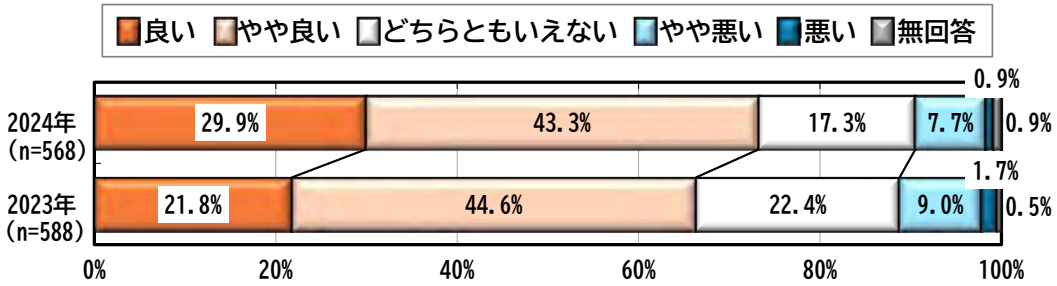


●「お住まいの環境の満足度」の算出方法●

$$= \frac{\text{「満足」回答数}\times 5 + \text{「まあ満足」回答数}\times 4 + \text{「どちらともいえない」回答数}\times 3 + \text{「やや不満」回答数}\times 2 + \text{「不満」回答数}\times 1}{\text{回答者数（無回答除く）}}$$

※３点を中間値として、５点に近づくほど満足度が高く、１点に近づくほど不満度が高くなります。

●「お住まいの環境を総合的に見てどのように感じているのか」という質問に対し、「良い」・「やや良い」と回答した人の割合は７３．２％でした。２０２３（令和５）年度と比較すると約７ポイント増加しています。



● 環境にやさしい行動の取組状況について（問５、問７）

●２３の取組のうち半分以上の１３の取組で「いつもしている」・「時々している」と回答した人の割合が８０％を超えており、多くの人が環境にやさしい行動に取り組んでいることがうかがえます。「していない（本当はしたい）」を含めるとすべての項目で６０％以上の回答となっており、取組に対する意欲が高いことがうかがえます。

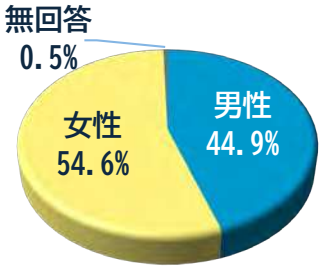
●環境にやさしい設備機器について「すでに購入・設置している」・「購入・設置を検討中」の割合が高い項目は、「ＬＥＤ電球や電球型蛍光灯」（９０．０％）、「省エネタイプの家電製品」（７８．３％）でした。

● 目黒区で行っている環境保全活動について（問１０）

●「環境保全に関する取組・支援を利用・参加したことがあるか」という質問に対しては、「どれにも参加したことがない」という回答が８４．７％でした。参加できない理由は、「活動があることを知らないから」という回答が最も多く、次いで「参加する時間がないから」、「一人では参加しにくいから」という結果でした。

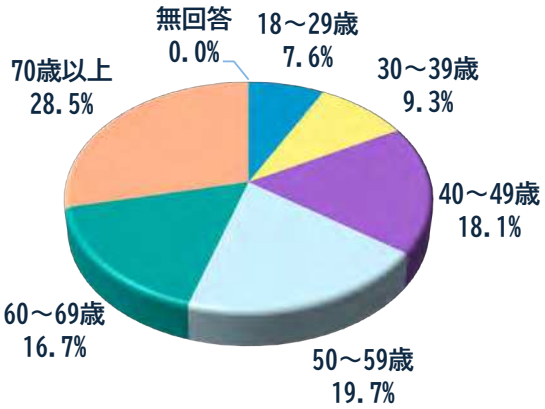
アンケート回答者の属性（n=568）

● 性別

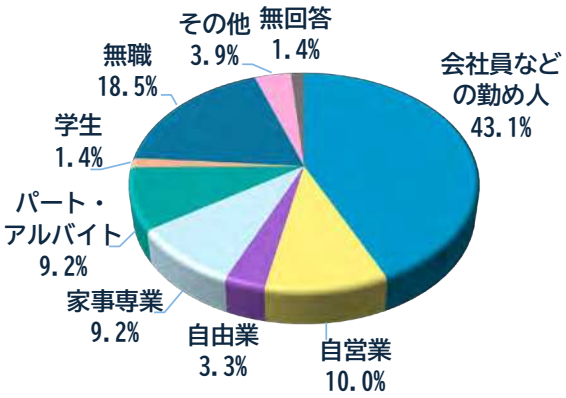


○無作為抽出では２，０００人のうち、
男性１，０００人（５０．０%）、
女性１，０００人（５０．０%）でした。

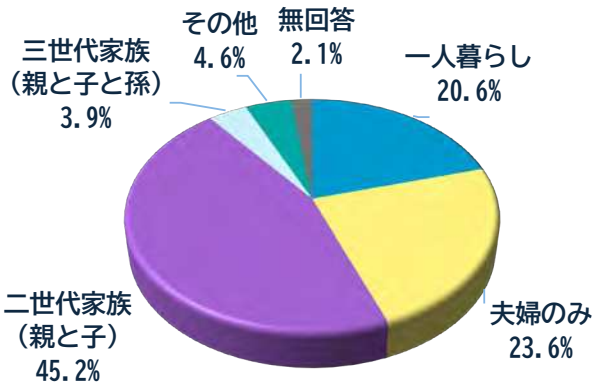
● 年齢（満年齢）



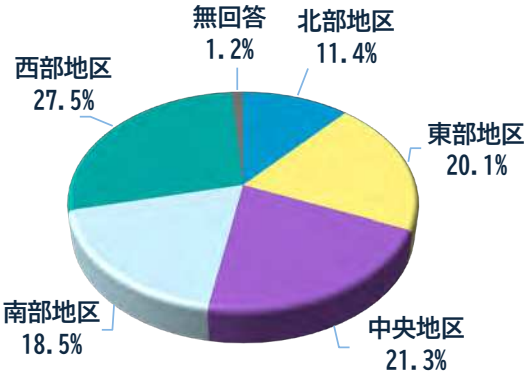
● 職業



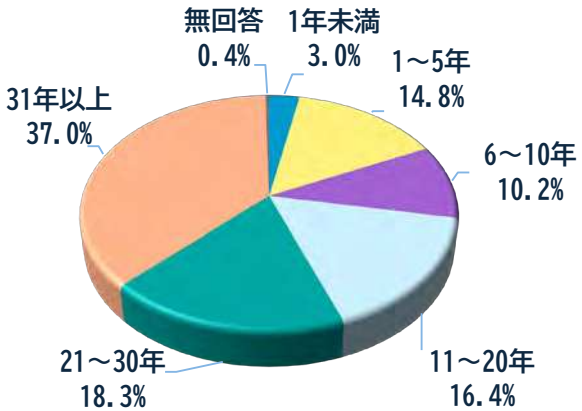
● 世帯の構成



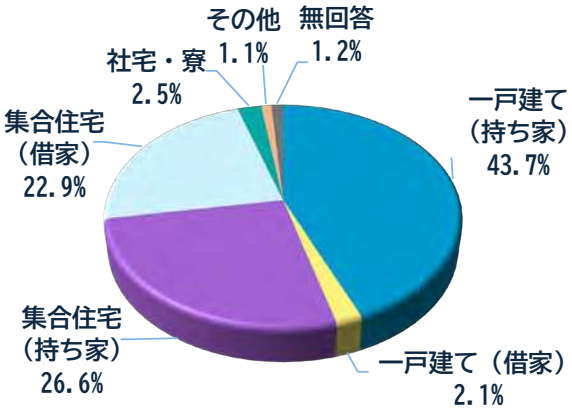
● 居住地区



● 目黒区居住年数



● 住宅の種類



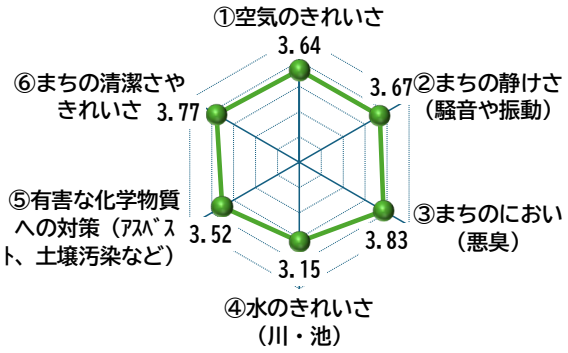
1. 現在のお住まいの環境について（問1～問4）

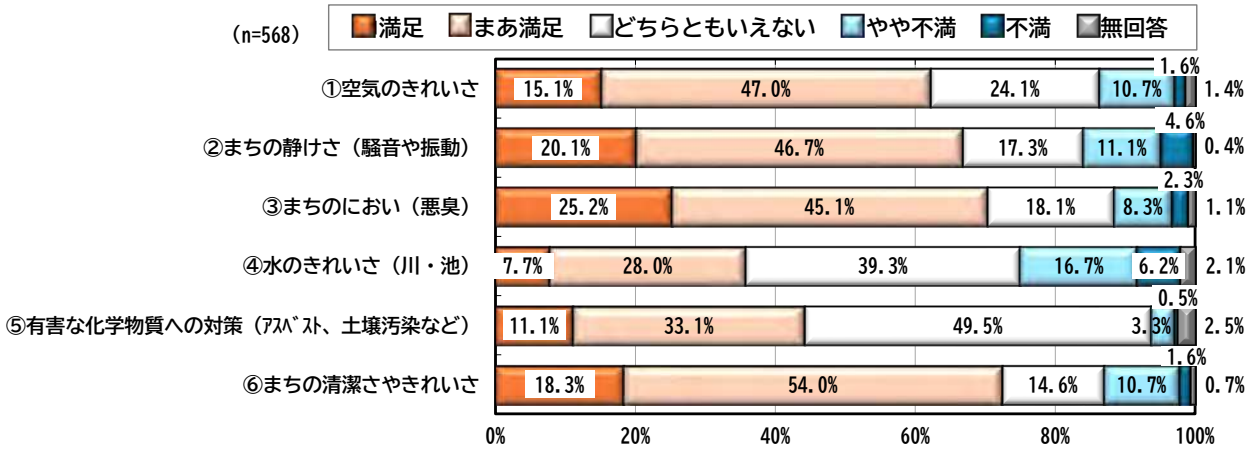
問１．日常の生活を支える環境について、どのように感じていますか。

（１）快適・安心

○ 「③まちのにおい（悪臭）」、「⑥まちの清潔さやきれいさ」、「②まちの静けさ（騒音や振動）」、「①空気のきれいさ」の順で満足度が高く、「③まちのにおい（悪臭）」、「⑥まちの清潔さやきれいさ」では、「満足」・「まあ満足」の割合が７０%以上になっています。

○ 「④水のきれいさ（川・池）」に対しての満足度が低く、「満足」・「まあ満足」の割合は約３６%、「不満」・「やや不満」は約２３%とあまり差がない状況です。

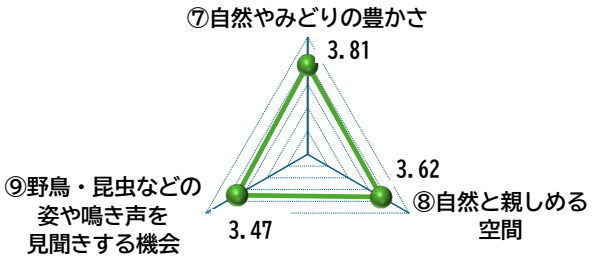


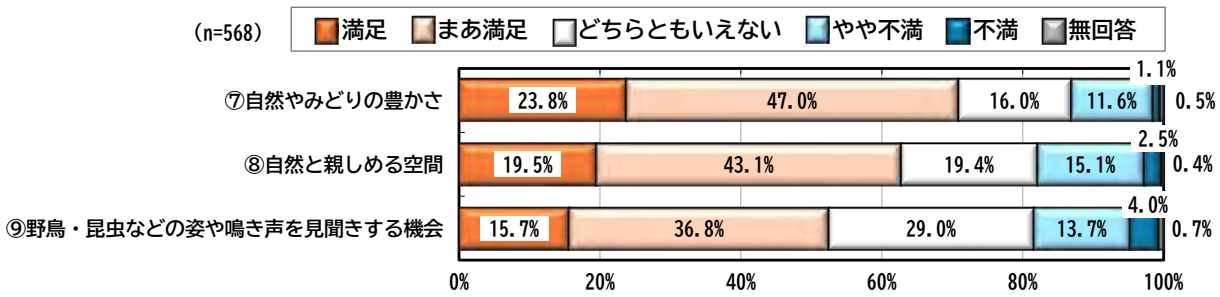


（２）自然・みどり

○ 「⑦自然やみどりの豊かさ」の満足度が高く、「満足」・「まあ満足」の割合が７０%以上になっています。

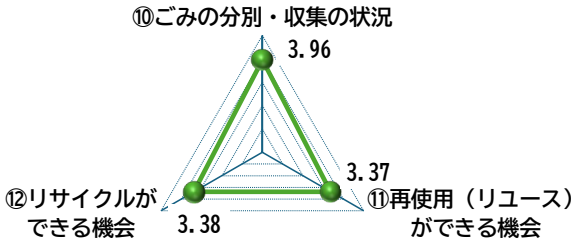
○ 「⑧自然と親しめる空間」、「⑨野鳥・昆虫などの姿や鳴き声を見聞きする機会」では、「満足」・「まあ満足」の割合は５割を超えているものの、「不満」・「やや不満」の割合が２割近くと比較的多い状況です。

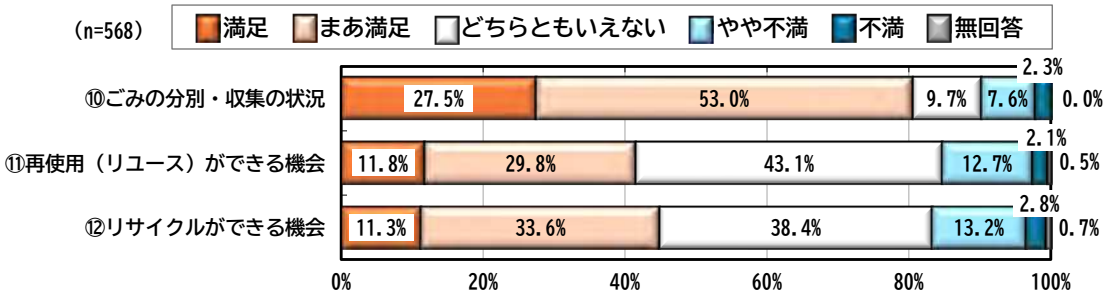




（３）資源循環

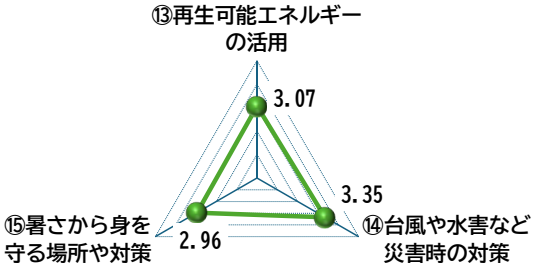
○ 「⑩ごみの分別･収集の状況」の満足度が高く、「満足」･「まあ満足」の割合が８０%以上になっています。
○ 「⑪再使用（リユース）ができる機会」、「⑫リサイクルができる機会」では、「満足」･「まあ満足」の割合は５割に満たず、満足度があまり高くない状況です。

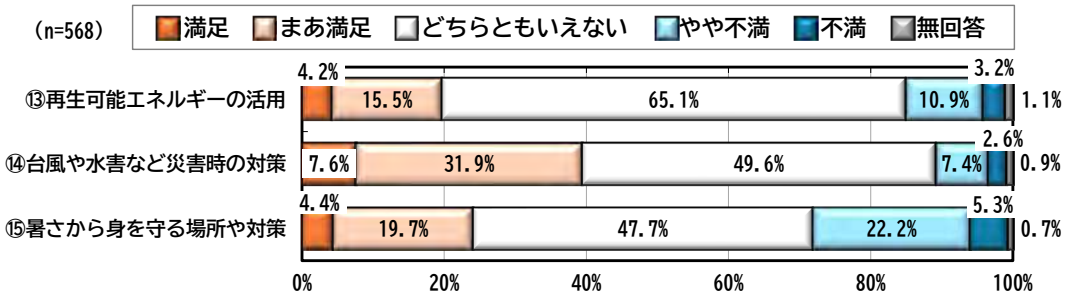




（４）気候変動対策

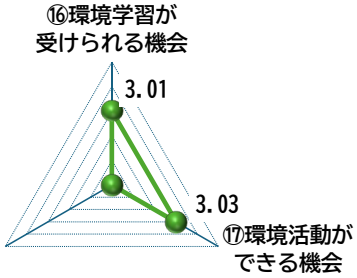
○ 「⑭台風や水害など災害時の対策」が、この分野では最も満足度が高いものの「満足」･「まあ満足」の割合が４割未満となっています。
○ 「⑮暑さから身を守る場所や対策」では、「満足」･「まあ満足」の割合より「不満」･「やや不満」の割合が多く、満足度が中間値の３点より低くなっています。

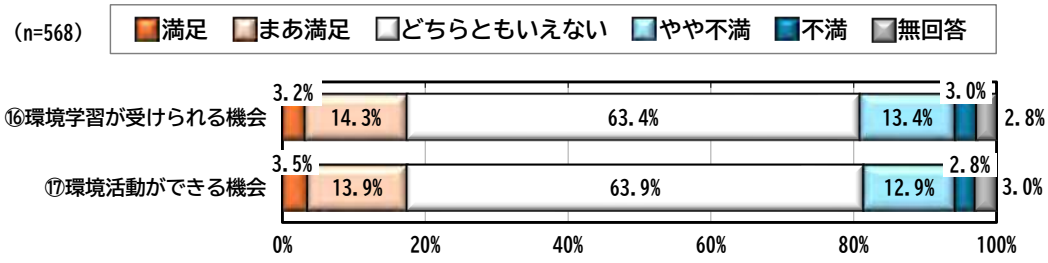




（５）環境学習・環境活動

○ 「⑯環境学習が受けられる機会」、「⑰環境活動ができる機会」ともに満足度が低く、「満足」･「まあ満足」の割合と「不満」･「やや不満」の割合が同程度となっています。

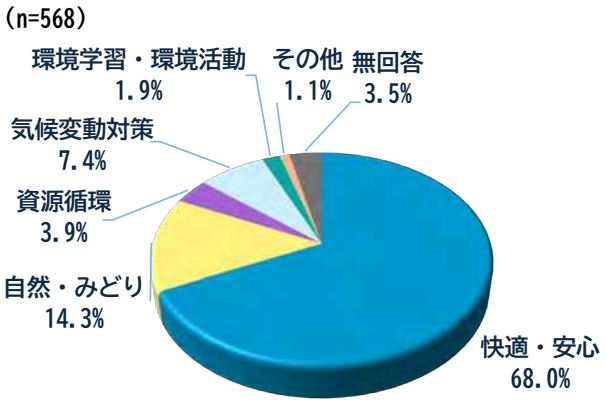




問２．日常の生活を支える環境について、あなたが最も重要と思う分野はどれですか。

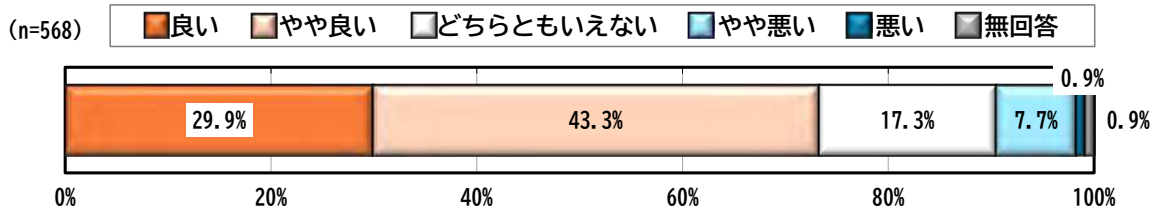
○ 最も重要と思う分野は、「快適・安心」が６８．０％と最も多く、次いで、「自然・みどり」が１４．３％となっています。

○ 「その他」の回答として、「区民のマナー向上活動」や「交通の安全性、歩行者の安全性」などがあげられました。



問３．お住まいの環境について、総合的に見てどのように感じていますか。

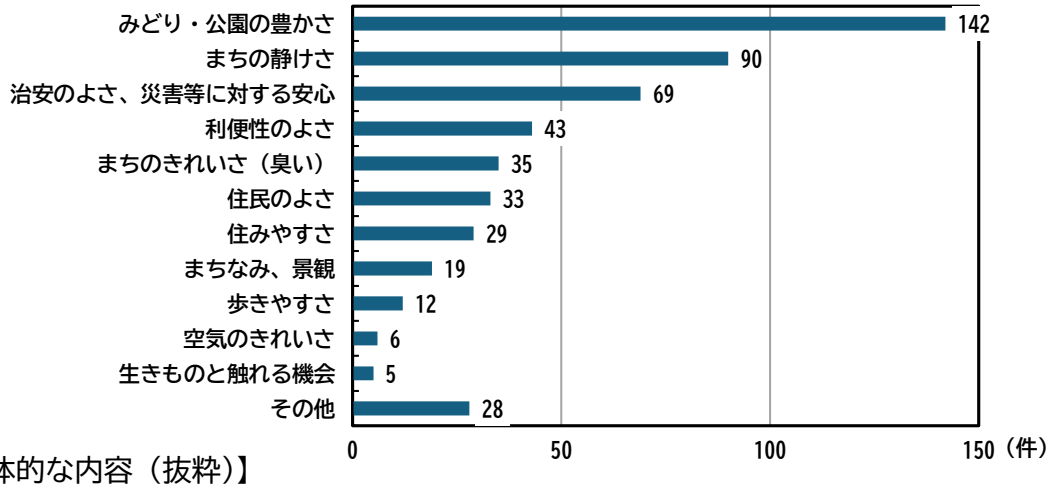
○ 「良い」・「やや良い」の割合の合計（７３．２％）が、「悪い」・「やや悪い」の割合の合計（８．６％）を大きく上回っています。多くの人が、総合的に良い環境であると感じています。「悪い」と感じている人は１％未満でした。



問４．問３で回答した理由をご記入ください。（自由回答）

●「良い」と思う理由【回答者数：３３１人、延べ回答件数：５１１件】

○ 身近な環境を良いと感じるキーワードとして、みどり・公園の豊かさ、まちの静けさなどが挙げられます。

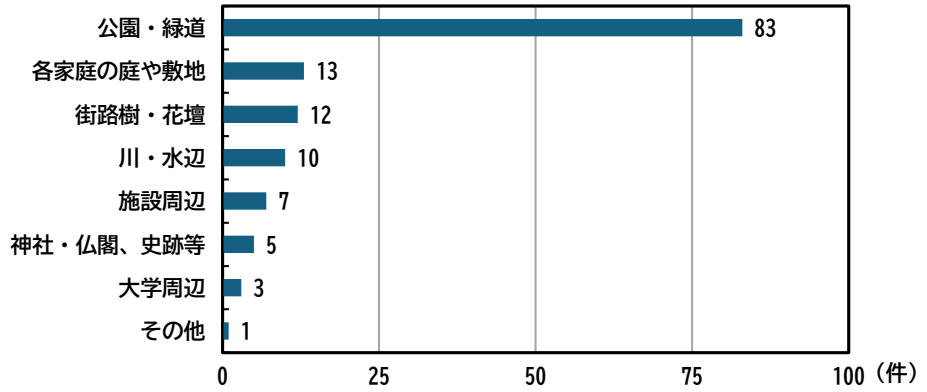


【具体的な内容（抜粋）】

みどり・公園の豊かさ	・都心でありながらみどりが多く、自然や季節を感じられる ・緑道や公園があり、常に花が植えられている ・庭やまちの植木の手入れがゆき届いている など
まちの静けさ	・利便の割に、騒音などの不満は大きくない ・住宅街で静かな環境。鳥の声などがきこえる など
治安のよさ、災害等に対する安心	・街がきれいで治安が良い ・特に不安に思う点もなく、安心して過ごせている ・大きな公園、病院があり、災害時に比較的安心な環境 など

●「良い」と思う場所【回答者数：１１４人、延べ回答件数：１３４件】

○ 「良い」と思う場所では、１３４件中８３件が公園・緑道に関する場所であり、自然が感じられる場所が多く回答されました。また、各家庭の庭や敷地のみどりが豊かできれいに管理されているとの回答が多く寄せられました。

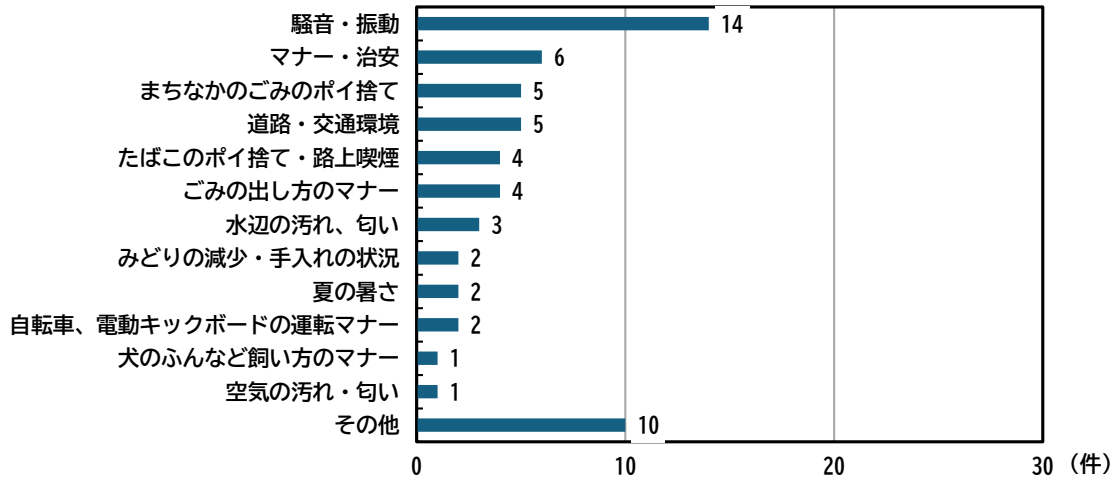


【具体的な内容（抜粋）】

公園・緑道	都立林試の森公園、駒沢オリンピック公園、すずめのお宿緑地公園、菅刈公園、中目黒公園、呑川緑道 など
川・水辺	目黒川、立会川 など
施設周辺	自然教育園、めぐろ区民キャンパス（パーシモンホール）など

●「悪い」と思う理由【回答者数：４５人、延べ回答件数：５９件】

○ 身近な環境を悪いと感じるキーワードとして、騒音・振動、マナー・治安、まちなかのごみのポイ捨て、道路・交通環境などが挙げられます。また、夏の暑さや自転車、電動キックボードの運転マナーなども挙げられました。

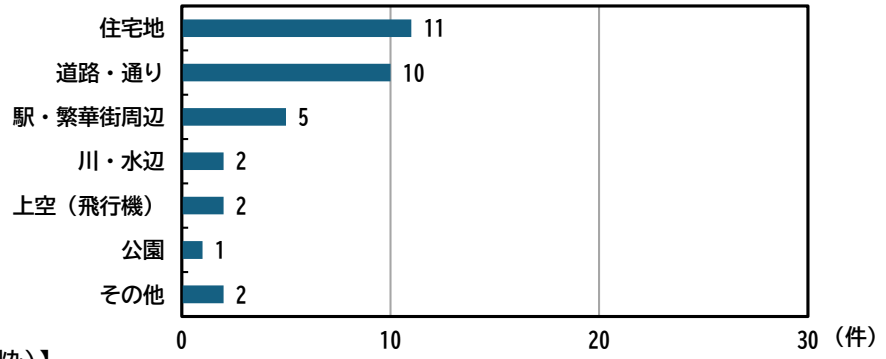


【具体的な内容（抜粋）】

騒音・振動	・飛行機、幹線道路や住宅街の車の騒音 ・近隣の大きな音での音楽 ・イベント時の騒音　など
マナー・治安	・駅周辺、繁華街周辺の路上の不潔さ ・公園や飲食店の騒がしさ　など
まちなかのごみのポイ捨て	・道路にごみが捨てられている（住人以外） ・たばこの吸い殻のポイ捨て　など
道路・交通環境	・暖かくなってくると道路の排水溝等から悪臭が漂う ・夜道が暗い　など

●「悪い」と思う場所【回答者数：３２人、延べ回答件数：３３件】

○ 「悪い」と思う場所では、３３件中１１件が身近な住宅地に関する場所、１０件が道路・通りに関する場所でした。



【具体的な内容（抜粋）】

住宅地	騒音、ごみ集積所の汚さ、樹木の伐採　など
道路・通り	目黒通り、山手通り、淡島通り、環状七号線など幹線道路の排気ガスや騒音、路上駐車　など
駅・繁華街周辺	騒音、路上喫煙、汚さ　など

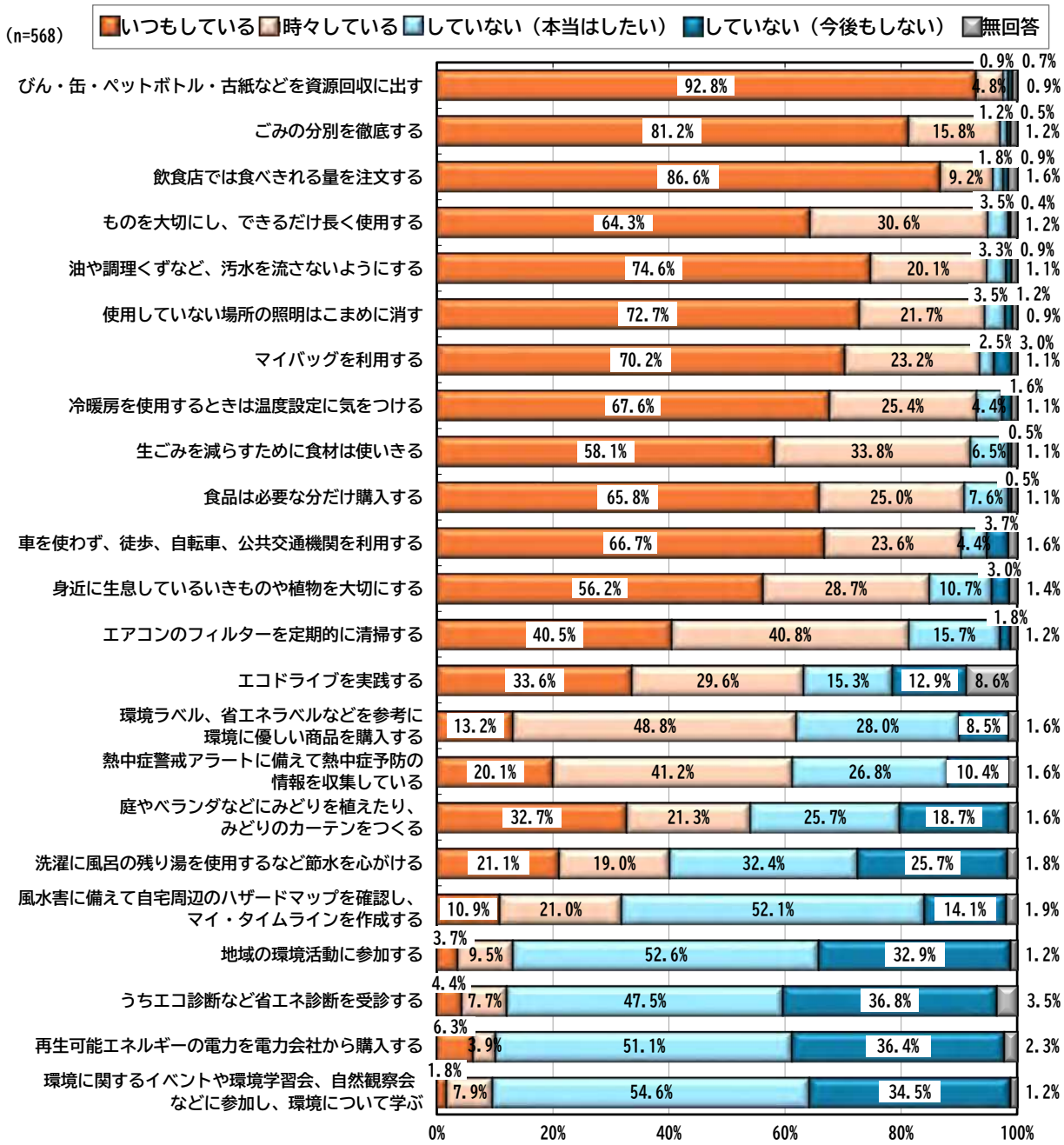
2. 環境にやさしい行動の取組状況について（問5～問9）

問５．あなたは次の「家庭でできる環境にやさしい行動」を普段どの程度行っていますか。

○ 「資源回収」、「ごみの分別」、「食べきれる量の注文」、「ものを大切にする」、「汚水を流さない」「こまめな消灯」、「マイバックの利用」、「冷暖房の適度な温度設定」、「食材の使い切り」、「必要な分の食品購入」、「公共交通機関の利用」は「いつもしている」・「時々している」と回答した人の割合が９０％を超えており、取組として定着していることがうかがえます。

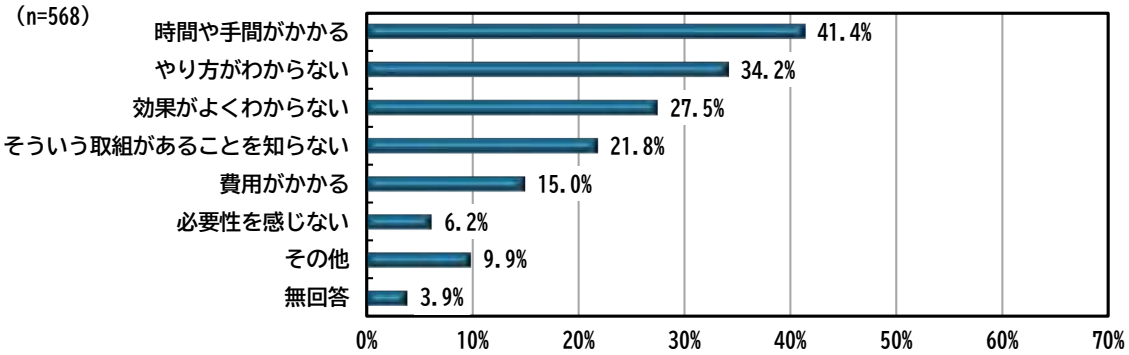
○ 「風水害に備えたマイ・タイムライン作成」、「地域の環境活動」、「省エネ診断」、「再エネ電力」、「環境イベント」は取り組んでいる割合は少ないものの、５割前後の人が「していない（本当はしたい）」と回答しています。

○ ２０２３（令和５）年度と比較できる取組のうち、「エコドライブ」と「洗濯に残り湯を利用」が「いつもしている」・「時々している」と回答した人の割合が増加しました。



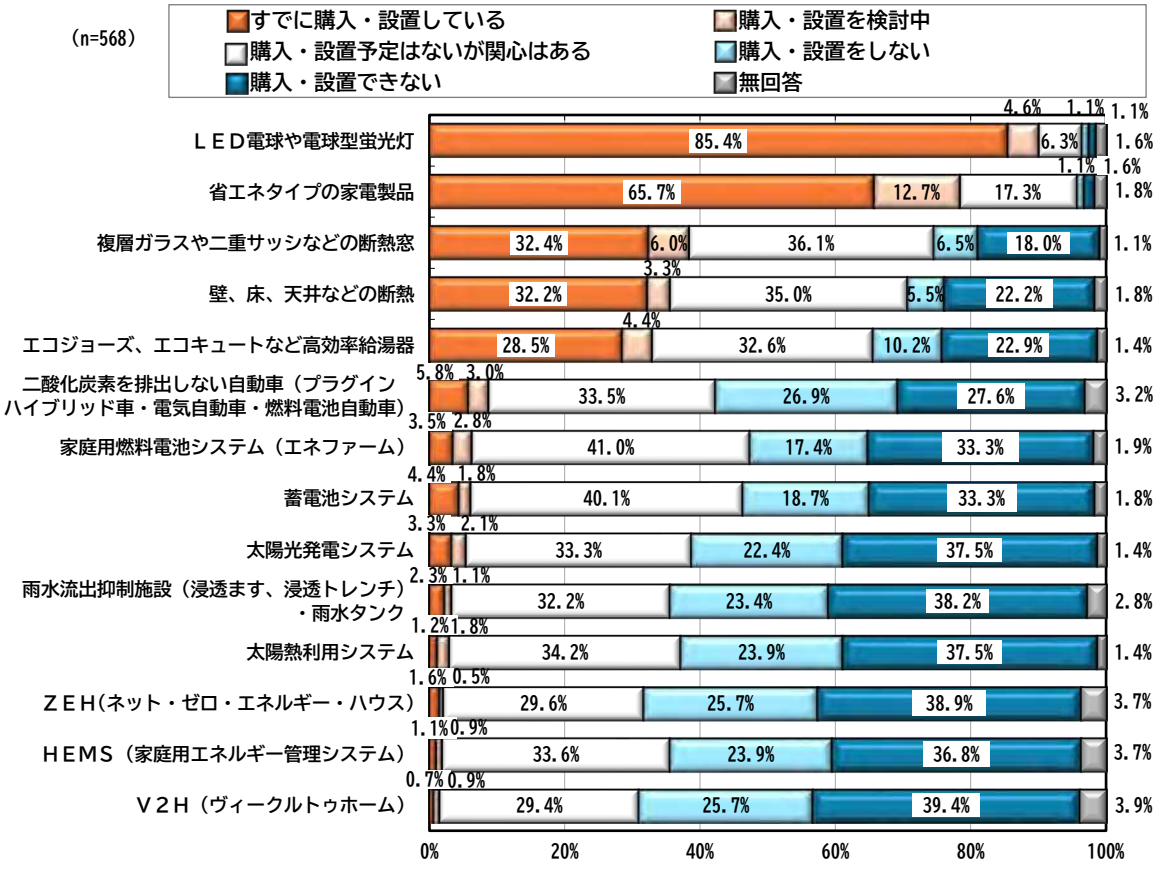
問６．あなたにとって、「家庭でできる環境にやさしい行動」に対して取り組むことが難しい理由は何ですか。【複数回答】

○ 「時間や手間がかかる」（４１．４％）が最も高い割合を占めています。次いで、「やり方がわからない」（３４．２％）、「効果がよくわからない」（２７．５％）の回答が多くなっています。
○ 「その他」は、「取り組んでいる・できることはしている」（１９件）が最も多く、「高齢のため」（１４件）、「時間がない・時間があわない」（５件）などの回答がありました。



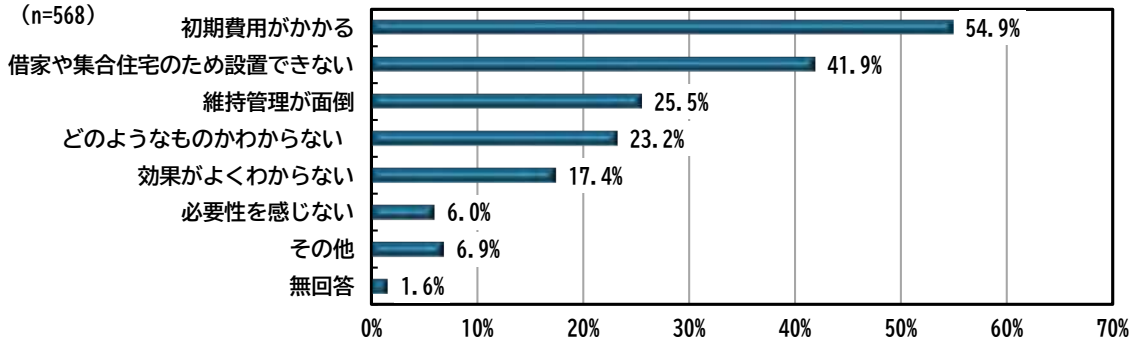
問７．あなたは次の「環境にやさしい機器や設備など」を購入・設置していますか。

○ 「ＬＥＤ電球や電球型蛍光灯」、「省エネ家電」、「断熱」、「給湯器」など住宅の種類による制限が比較的低いものの購入・設置率が高くなっています。
○ 「購入・設置予定はないが関心はある」については、「家庭用燃料電池システム」（４１．０％）、「蓄電池システム」（４０．１％）の回答の割合が高くなっています。
○ ２０２３（令和５）年度と比較できる取組のうち、「ＬＥＤ電球や電球型蛍光灯」と「省エネ家電」で「購入・設置を検討中」と回答した人の割合が減少しました。



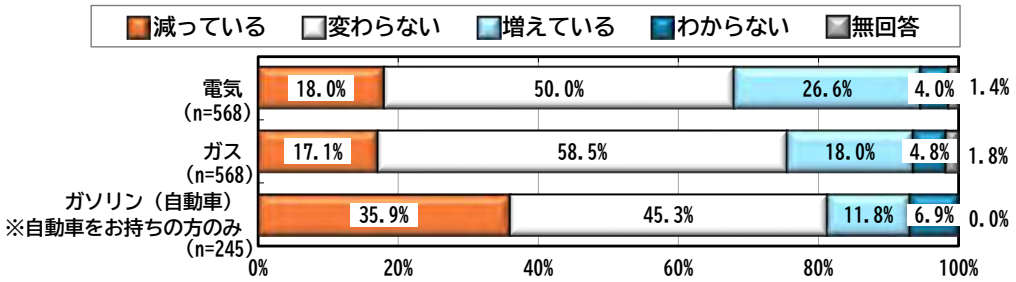
問８．あなたにとって、「環境にやさしい機器や設備など」を購入・設置に取り組むことが難しい理由は何ですか。【複数回答】

○ 「初期費用がかかる」（５４．９%）が最も高い割合を占めています。次いで、「借家や集合住宅のため」（４１．９%）の回答が多くなっています。
○ 「その他」は、「太陽光発電など再エネに対する不安・不信感」（９件）が最も多く、「敷地や建物の構造で設置が難しい」（６件）などの回答がありました。



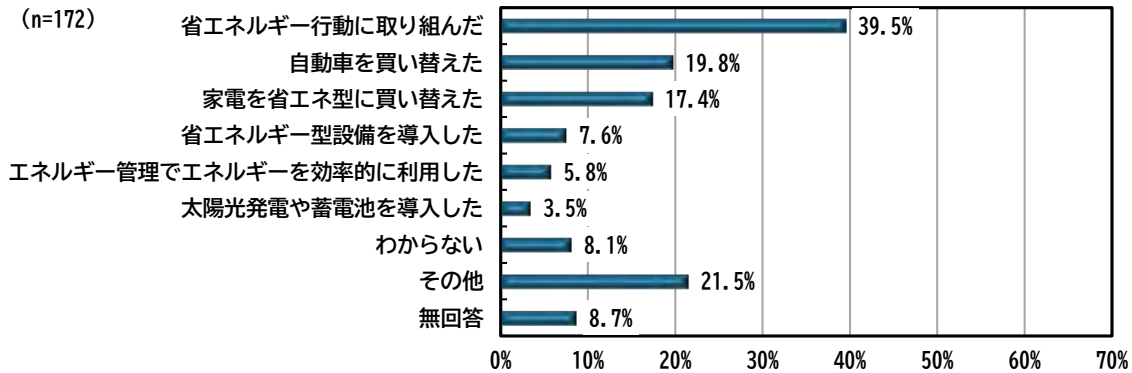
問９．（ア）あなたの世帯の電気・ガス・ガソリン（自動車）の近年の使用量は、以前と比べて、どのように変化していますか。

○ 電気、ガスについては、使用量が「増えている」の回答が「減っている」の割合を超えています。テレワークの普及や年々深刻化する夏の暑さなどが影響していることがうかがえます。
○ ガソリンは「減っている」の回答が「増えている」の割合を超えており、自動車の燃費の向上やハイブリッド車などの普及、エコドライブの定着などの影響がうかがえます。



問９．（イ）減っている方のみにお聞きします。あなたの世帯の電気・ガス・ガソリン（自動車）の近年の使用量が変化した理由はどのようなものですか。【複数回答】

○ 「省エネルギー行動」（３９．５%）が最も高い割合を占めています。次いで、「自動車の買い替え」（１９．８%）「省エネ家電への買い換え」（１７．４%）の回答が多くなっています。
○ 「その他」では、「使用頻度を減らした」（１３件）「家族数が減った」（１１件）などの回答がありました。

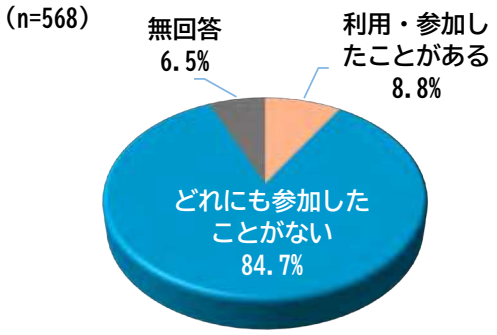


3. 目黒区で行っている環境保全活動について（問10～問16）

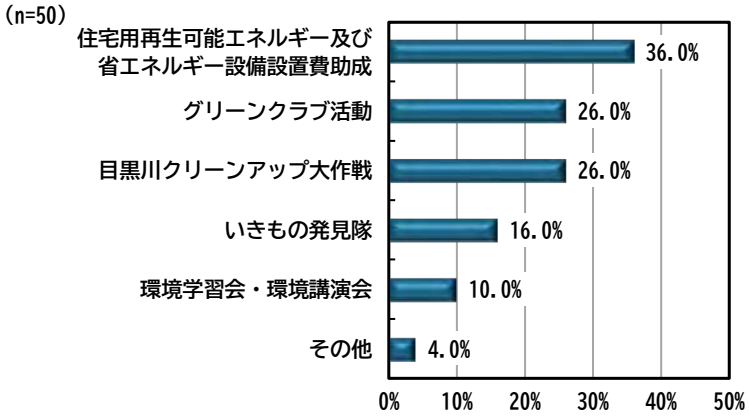
問１０.（ア）区では、枠内に示すような環境保全に関する取組・支援を行っています。これらの取組を利用・参加したことがありますか。【複数回答】

○ 区の環境保全に関する取組に「どれにも参加したことがない」が８４.７%となっています。
○ 利用・参加したことのある取組のうち、回答者数が多かった取組は、「再エネ省エネ設備設置助成」と「グリーンクラブ活動」、「目黒川クリーンアップ大作戦」でした。
○ 「その他」では、「WE　LOVE　MEGURO」などの回答がありました。

●利用・参加の有無●

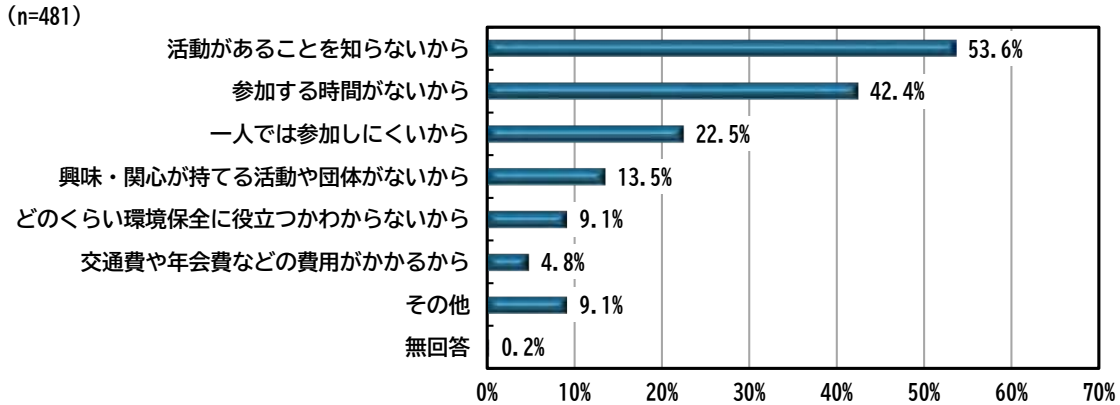


●利用・参加したことのある取組●



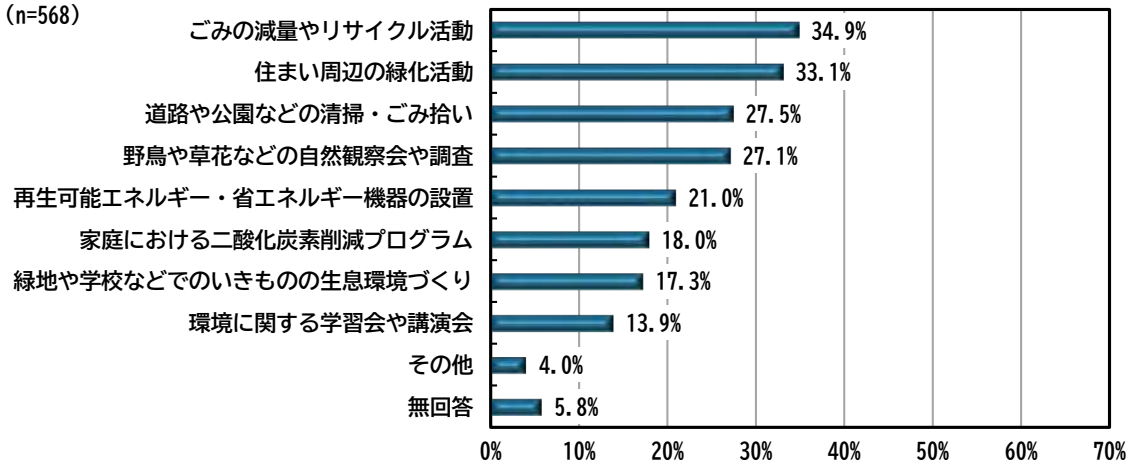
問１０.（イ）どれにも参加したことがない方のみにお聞きします。参加したことがない理由は何ですか。【複数回答】

○ 「活動があることを知らないから」（５３.６%）が最も多く、次いで「参加する時間がないから」（４２.４%）、「一人では参加しにくいから」（２２.５%）となっています。
○ 「その他」の理由としては、「高齢のため」（２２件）、「身体的理由」（７件）、「引っ越してきたばかり」（４件）、「時間があわない」（４件）、「興味がない・面倒くさい」（４件）などの回答がありました。



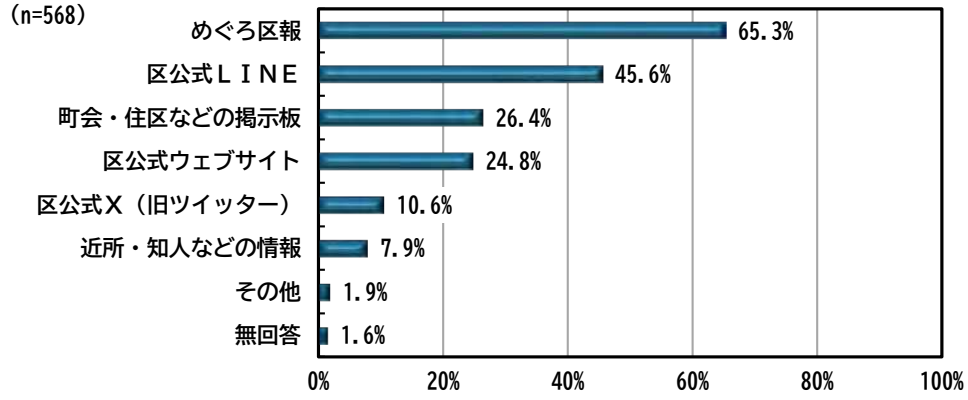
問１１．今後、環境活動に参加するとすれば、どのような活動に興味がありますか。【複数回答】

○「ごみの減量やリサイクル活動」（３４．９%）、「住まい周辺の緑化活動」（３３．１%）が多く、次いで「道路や公園などの清掃・ごみ拾い」（２７．５%）、「野鳥や草花などの自然観察会や調査」（２７．１%）となっています。
○「その他」では、「手軽にできる活動」、「子どもと楽しめるような企画」、「省エネ講座」、「家計費が安くなることにつながる活動」などの回答がありました。



問１２．区からの環境情報を得るために、どのような媒体が利用しやすいですか。【複数回答】

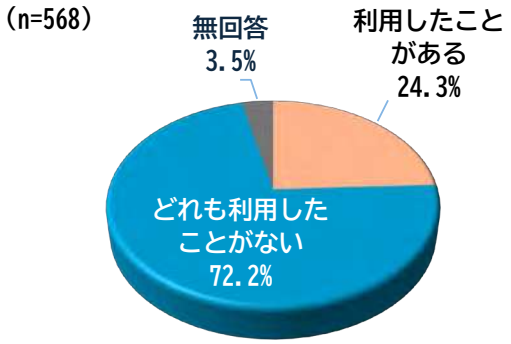
○「めぐろ区報」（６５．３%）が最も多く、次いで「区公式ＬＩＮＥ」（４５．６%）、「町会・住区などの掲示板」（２６．４%）、「区公式ウェブサイト」（２４．８%）となっています。
○「その他」では、「回覧板」（4件）、「Ｉｎｓｔａｇｒａｍ（インスタグラム）」（3件）などの回答がありました。



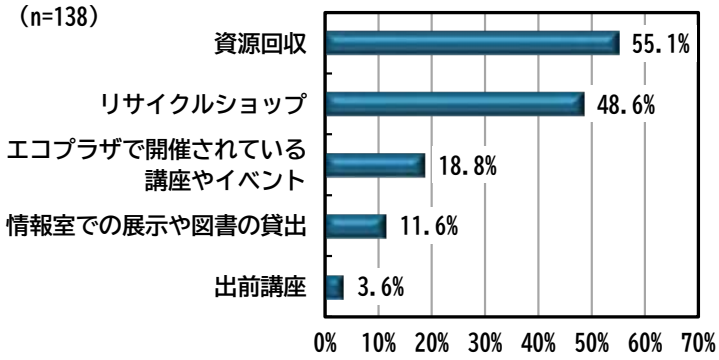
問１３.（ア）「目黒区エコプラザ」では、環境活動の拠点として枠内に示すような取組を行っています。これらを利用したことがありますか。【複数回答】

○ 「目黒区エコプラザ」の取組を「どれにも利用したことがない」が７２.２%となっています。
○ 利用したことのある取組のうち、回答者数が多かった取組は、「資源回収」と「リサイクルショップ」でした。

●利用の有無●

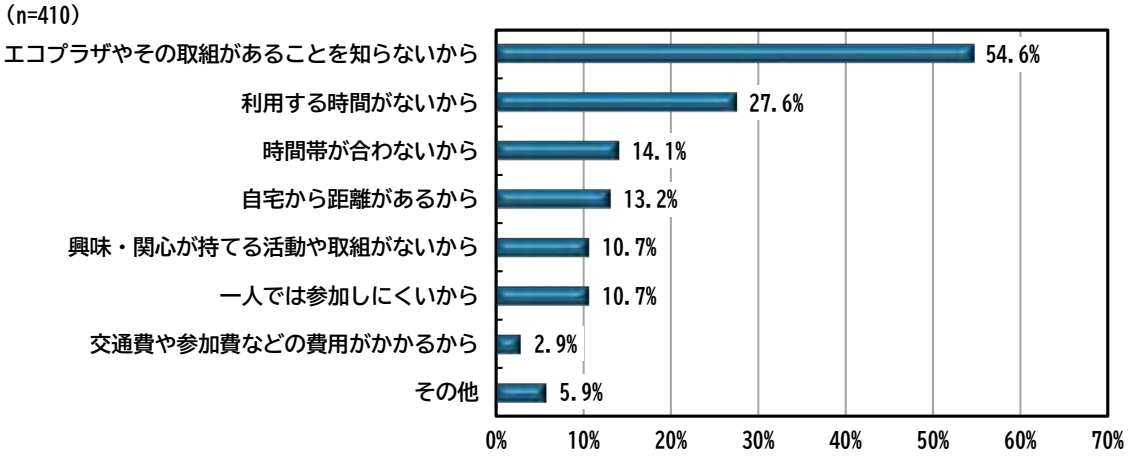


●利用したことのある取組●



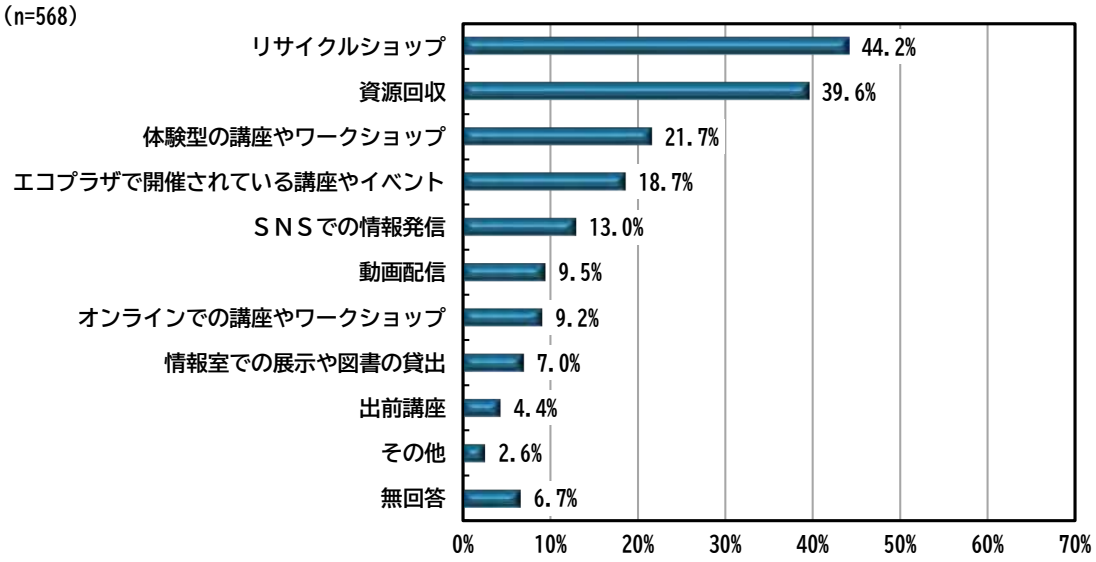
問１３.（イ）どれも利用したことがない方のみにお聞きします。利用したことがない理由は何ですか。【複数回答】

○ 「エコプラザやその取組があることを知らないから」（５４.６%）が最も多く、次いで「利用する時間がないから」（２７.６%）となっています。
○ 「その他」の理由としては、「高齢のため」（８件）、「身体的理由」（３件）、「どこにあるのかわからない」（３件）、「人が多く集まるのが苦手」（３件）などの回答がありました。



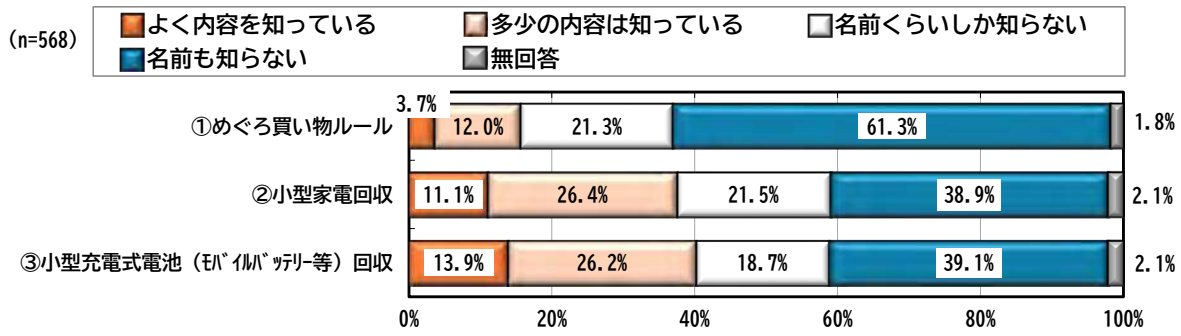
問１３．（ウ）今後、「目黒区エコプラザ」の取組を利用するとすれば、どのような取組に興味がありますか。【複数回答】

○ 「リサイクルショップ」（４４．２%）、「資源回収」（３９．６%）が多く、次いで「体験型の講座やワークショップ」（２１．７%）、「エコプラザで開催されている講座やイベント」（１８．７%）となっています。
○ 「その他」では、「リサイクル家具の販売」（２件）のほか「飲食店」、「家計費が安くなることにつながる活動」などの回答がありました。



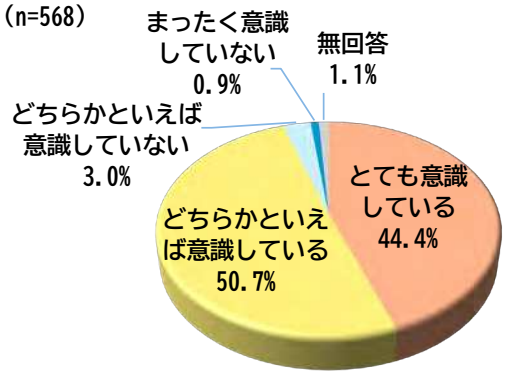
問１４．３Ｒの取組に関する区の取組についてお聞きします。

○ 「よく内容を知っている」、「多少の内容は知っている」の割合の合計は「めぐろ買い物ルール」が１５．７%、「小型家電回収」が３７．５%、「小型充電式電池回収」が４０．１%でした。
○ ２０２３（令和５）年度と比較できる取組のうち、「めぐろ買い物ルール」と「小型家電回収」の「よく内容を知っている」、「多少の内容は知っている」の回答割合は増えており、「名前も知らない」の回答は、「めぐろ買い物ルール」が約９ポイント、「小型家電回収」が約６ポイント減少しています。



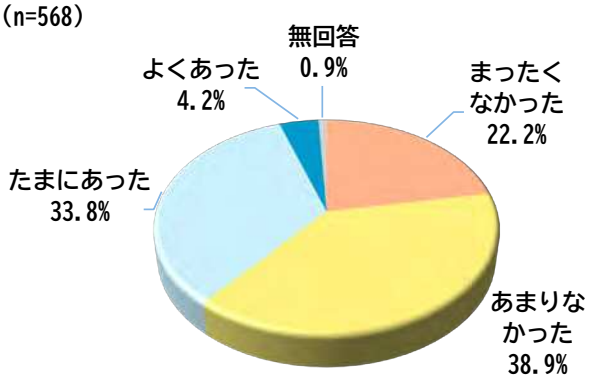
問１５.（ア）普段の生活で食品ロス削減を意識していますか。

○ 食品ロス削減について、「とても意識している」・「どちらかといえば意識している」と回答した人の割合は９５.１％で、大半の人が普段の生活で食品ロス削減を意識しています。
○ 「どちらかといえば意識していない」・「まったく意識していない」の回答の割合は、３.９％でした。



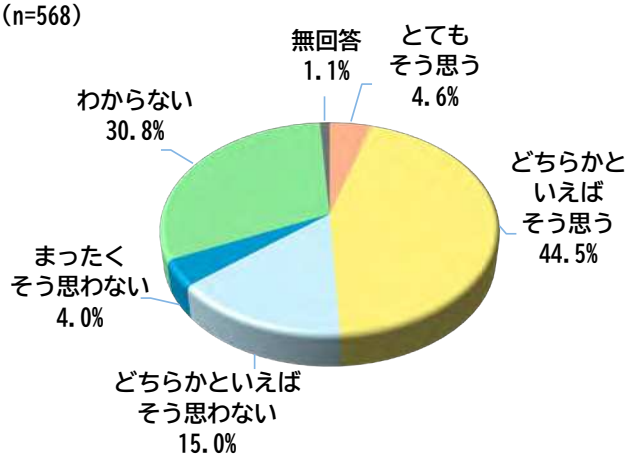
問１５.（イ）あなたはこの１か月間で食品（食材）を捨てたことがありますか。

○ １か月間の食品（食材）の廃棄について、「まったくなかった」・「あまりなかった」と回答した人の割合は６１.１％でした。
○ 「たまにあった」・「よくあった」の回答の割合は、３８.０％で、食品ロス削減を意識しつつも、ロスが発生してしまっていることがうかがえます。



問１６.現在の目黒区では、「区・区民・事業者が地球環境に配慮した行動をとっている」と思いますか。

○ 区・区民・事業者が地球環境に配慮した行動をとっているかについて、「とてもそう思う」・「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合は４９.１％で、「どちらかといえばそう思わない」・「まったくそう思わない」の割合の１９.０％を上回っています。
○ 「わからない」の回答が３０.８％となっていることから、取組状況についての啓発が必要とされていることがうかがえます。



地区ごとのお住まいの環境の感じ方 【問1、問3】

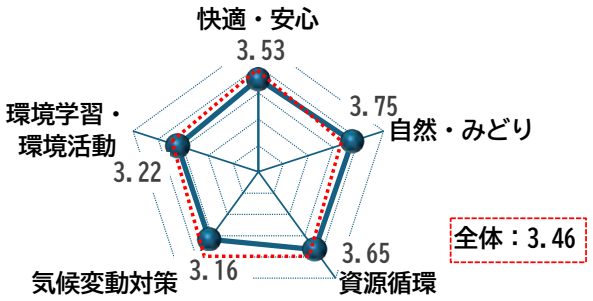
● 北部地区（駒場住区、菅刈住区、東山住区、烏森住区）

○ 【問１】の５つの分野の満足度については、区全域の３．３９（４４頁参照）と比較して高く、「自然・みどり」、「資源循環」、「快適・安心」の分野の順に満足度が高くなっています。「自然・みどり」、「環境学習・環境活動」は、それぞれ区全域の３．６３、３．０２より高い傾向がみられました。駒場野公園や菅刈公園など環境活動ができる公園があることが理由として考えられます。

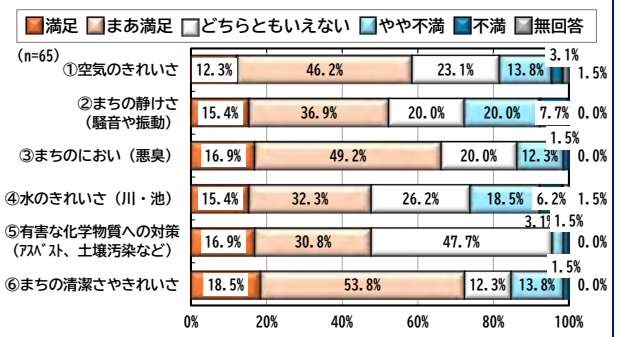
○ 【問１】の項目別では、「⑩ごみの分別・収集の状況」、「⑦自然やみどりの豊かさ」、「⑥まちの清潔さやきれいさ」、「⑧自然と親しめる空間」で「満足」・「まあ満足」の割合が高くなっています。一方、「②まちの静けさ（騒音や振動）」、「⑮暑さから身を守る場所や対策」、「④水のきれいさ（川・池）」で「不満」・「やや不満」の割合が高くなっています。

○ 【問３】の環境に対する総合評価は、「良い」・「やや良い」と回答した人の割合は６０．０%、「悪い」・「やや悪い」は１５．４%でした。区全域と比較すると評価が低くなっています。

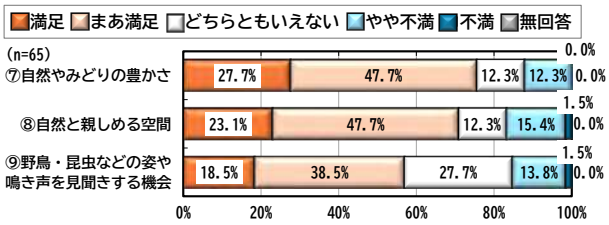
【問１】５つの分野の満足度



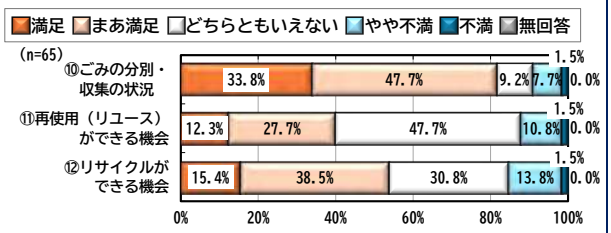
【問１】（１）快適・安心



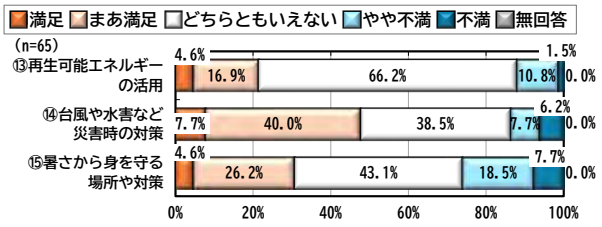
【問１】（２）自然・みどり



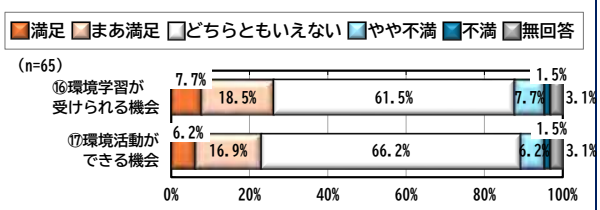
【問１】（３）資源循環



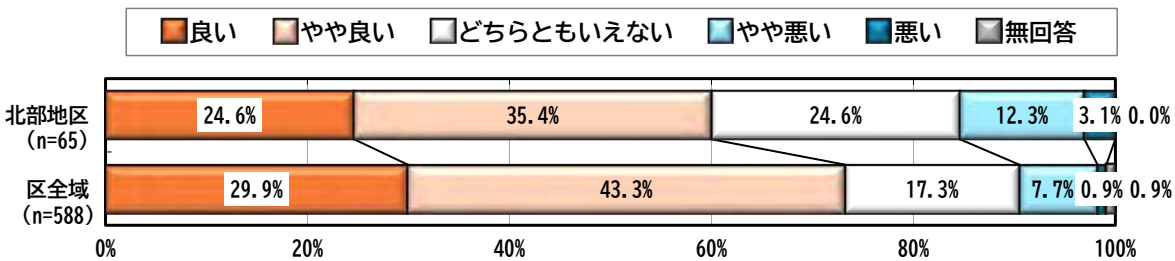
【問１】（４）気候変動対策



【問１】（５）環境学習・環境活動



【問３】環境に対する総合評価



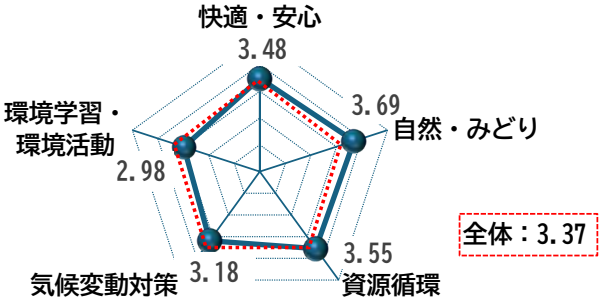
● 東部地区　（中目黒住区、田道住区、下目黒住区、不動住区）

○ 【問１】の５つの分野の満足度については、区全域の３．３９（４４頁参照）と同程度で、「自然・みどり」、「資源循環」、「快適・安心」の分野の順に満足度が高くなっています。「快適・安心」は、区全域の３．６０より低い傾向がみられました。目黒川の水質や駅周辺の清潔さに対する不満などが理由として考えられます。

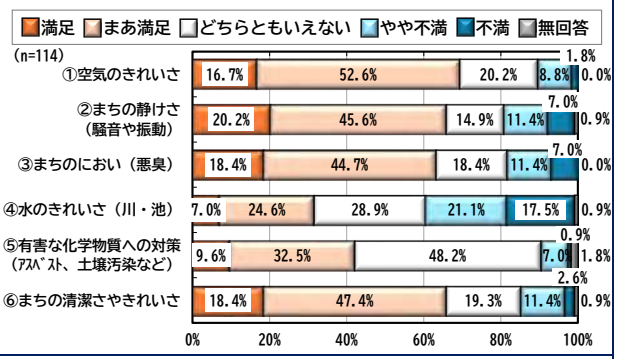
○ 【問１】の項目別では、「⑩ごみの分別・収集の状況」、「⑦自然やみどりの豊かさ」、「①空気のきれいさ」で「満足」・「まあ満足」の割合が高くなっています。一方、「④水のきれいさ（川・池）」「⑮暑さから身を守る場所や対策」で「不満」・「やや不満」の割合が高くなっています。

○ 【問３】の環境に対する総合評価は、「良い」・「やや良い」と回答した人の割合は７１．９％、「悪い」・「やや悪い」は７．９％でした。区全域と比較すると「良い」・「やや良い」の割合はやや低いですが、「悪い」・「やや悪い」の割合もやや低くなっています。

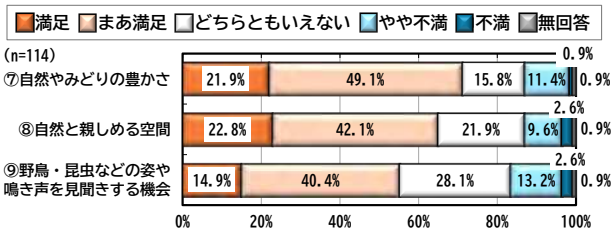
【問１】５つの分野の満足度



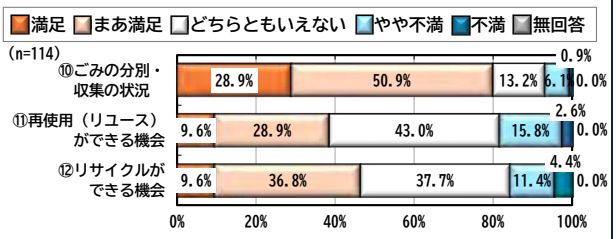
【問１】（１）快適・安心



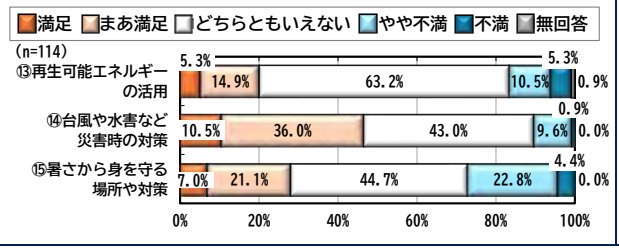
【問１】（２）自然・みどり



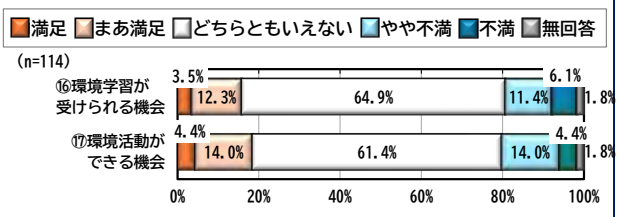
【問１】（３）資源循環



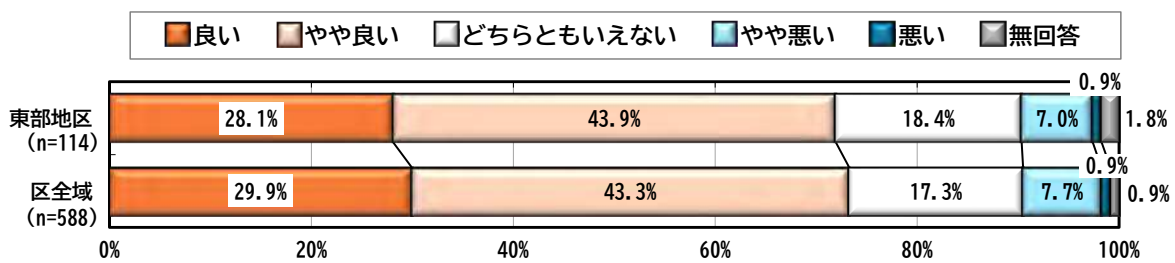
【問１】（４）気候変動対策



【問１】（５）環境学習・環境活動



【問３】環境に対する総合評価



※百分率（%）の表示は、小数第２位を四捨五入しているため、「良い＋やや良い」、「悪い＋やや悪い」の合計がグラフの合計と合わない場合があります。

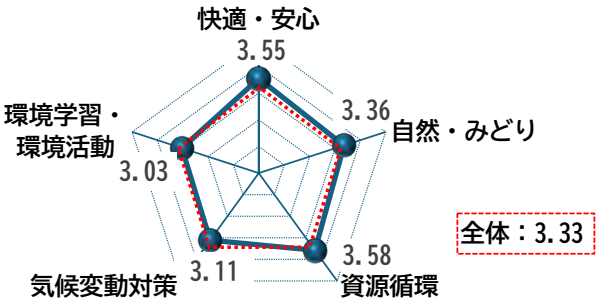
● 中央地区　（上目黒住区、油面住区、五本木住区、鷹番住区）

○ 【問１】の５つの分野の満足度については、区全域の３．３９（４４頁参照）と比較して低く、「資源循環」、「快適・安心」、「自然・みどり」の分野の順に満足度が高くなっています。「自然・みどり」は、区全域の３．６３より低い傾向がみられました。まとまったみどりがある公園や緑道などが比較的少ないことが理由として考えられます。

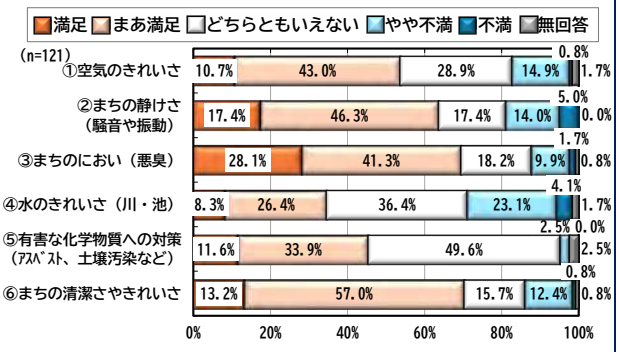
○ 【問１】の項目別では、「⑩ごみの分別・収集の状況」、「⑥まちの清潔さやきれいさ」、「③まちのにおい（悪臭）」で「満足」・「まあ満足」の割合が高くなっています。一方、「⑮暑さから身を守る場所や対策」、「⑧自然と親しめる空間」、「④水のきれいさ（川・池）」で「不満」・「やや不満」の割合が高くなっています。

○ 【問３】の環境に対する総合評価は、「良い」・「やや良い」と回答した人の割合は７１．９%、「悪い」・「やや悪い」は８．３%でした。区全域と比較すると「良い」・「やや良い」の割合はやや低いですが、「悪い」・「やや悪い」の割合もやや低くなっています。

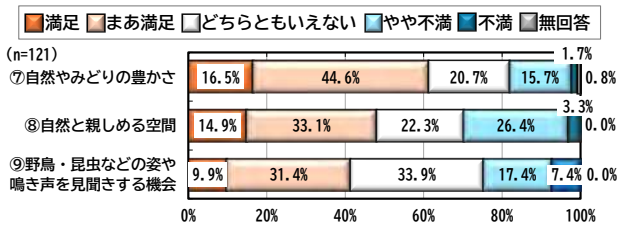
【問１】５つの分野の満足度



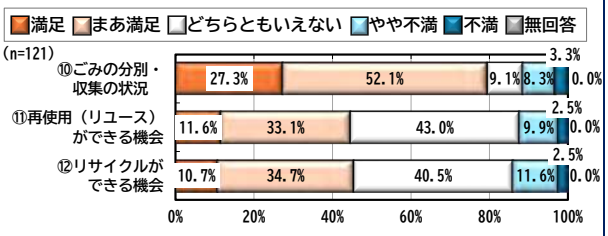
【問１】（１）快適・安心



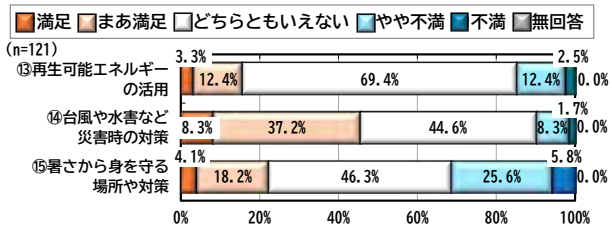
【問１】（２）自然・みどり



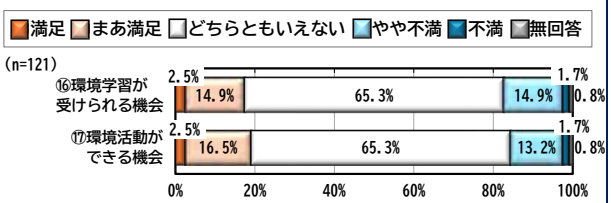
【問１】（３）資源循環



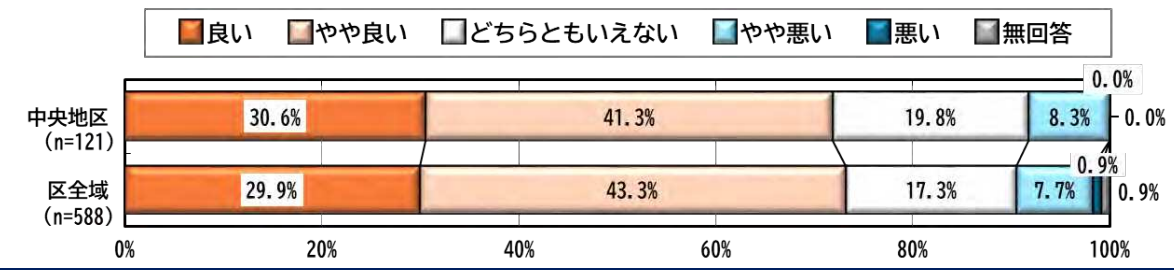
【問１】（４）気候変動対策



【問１】（５）環境学習・環境活動



【問３】環境に対する総合評価



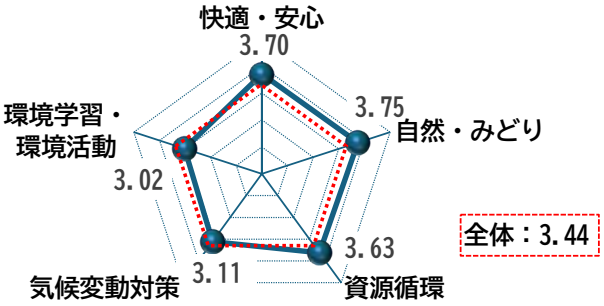
● 南部地区　（月光原住区、向原住区、碑住区、原町住区、大岡山東住区）

○ 【問１】の５つの分野の満足度については、区全域の３．３９（４４頁参照）と比較して高く、「自然・みどり」、「快適・安心」、「資源循環」の分野の順に満足度が高くなっています。「自然・みどり」、「快適・安心」は、それぞれ区全域の３．６３、３．６０より高い傾向がみられました。すずめのお宿緑地公園や清水池公園、住宅地のみどりなどが理由として考えられます。

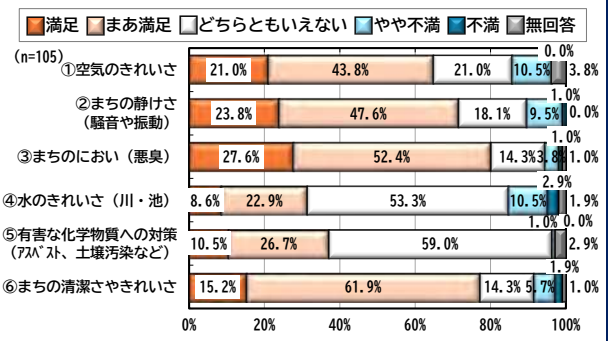
○ 【問１】の項目別では、「⑩ごみの分別・収集の状況」、「③まちのにおい（悪臭）」、「⑥まちの清潔さやきれいさ」、「⑦自然やみどりの豊かさ」で「満足」・「まあ満足」の割合が高くなっています。一方、「⑮暑さから身を守る場所や対策」で「不満」・「やや不満」の割合が高くなっています。

○ 【問３】の環境に対する総合評価は、「良い」・「やや良い」と回答した人の割合は８０．０%、「悪い」・「やや悪い」は５．７%でした。区全域と比較すると評価が高くなっています。

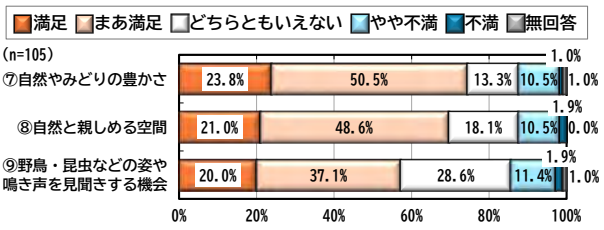
【問１】５つの分野の満足度



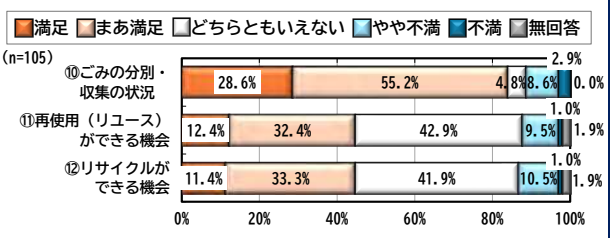
【問１】（１）快適・安心



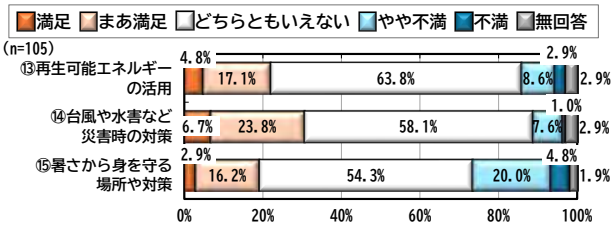
【問１】（２）自然・みどり



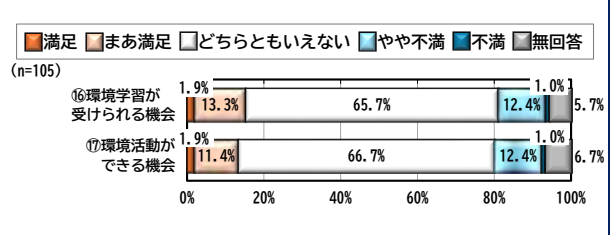
【問１】（３）資源循環



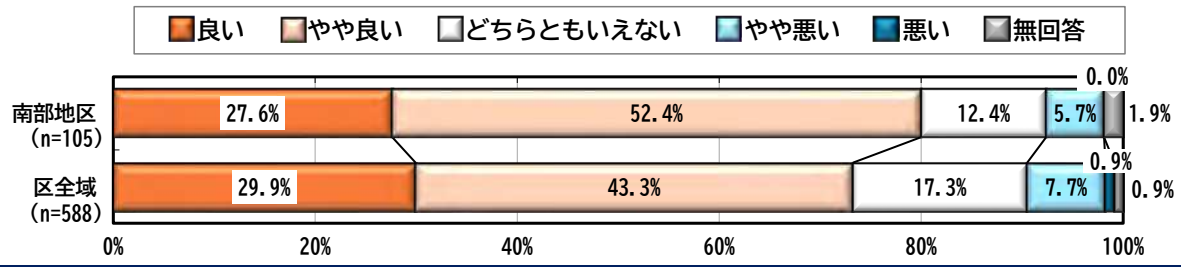
【問１】（４）気候変動対策



【問１】（５）環境学習・環境活動



【問３】環境に対する総合評価



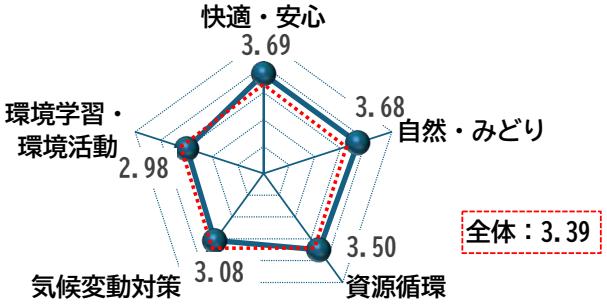
● 西部地区　（大岡山西住区、中根住区、自由が丘住区、八雲住区、東根住区）

○ 【問１】の５つの分野の満足度については、区全域の３．３９（４４頁参照）と同程度で、「快適・安心」、「自然・みどり」、「資源循環」の分野の順に満足度が高くなっています。「快適・安心」は、区全域の３．６０より高い傾向がみられました。自由が丘周辺や呑川緑道、めぐろ区民キャンパスなど適度な利便性を備えた落ち着いた住環境が理由として考えられます。

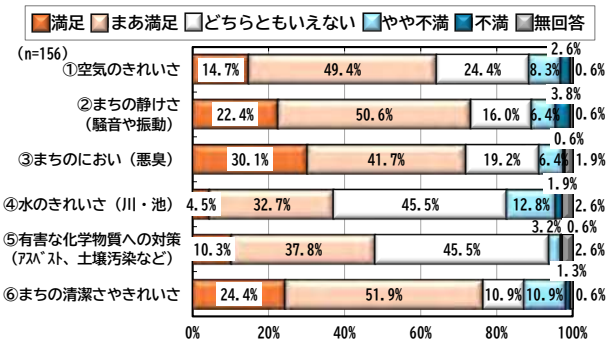
○ 【問１】の項目別では、「⑩ごみの分別・収集の状況」、「⑥まちの清潔さやきれいさ」、「⑦自然やみどりの豊かさ」、「②まちの静けさ（騒音や振動）」で「満足」・「まあ満足」の割合が高くなっています。一方、「⑮暑さから身を守る場所や対策」、「⑫リサイクルができる機会」、「⑯環境学習が受けられる機会」で「不満」・「やや不満」の割合が高くなっています。

○ 【問３】の環境に対する総合評価は、「良い」・「やや良い」と回答した人の割合は７６．９％、「悪い」・「やや悪い」は８．３％でした。区全域と比較すると評価が高くなっています。

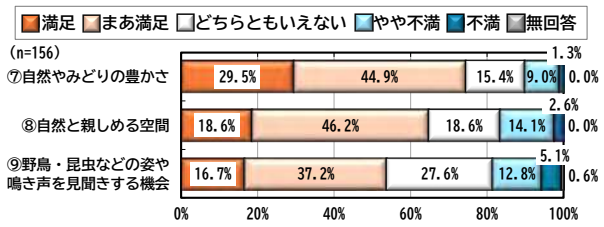
【問１】５つの分野の満足度



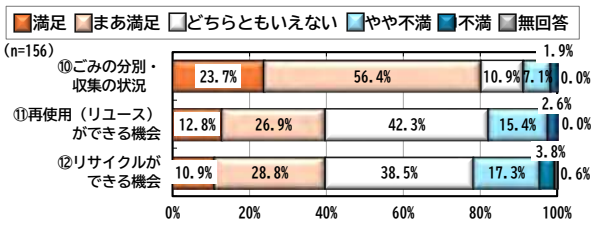
【問１】（１）快適・安心



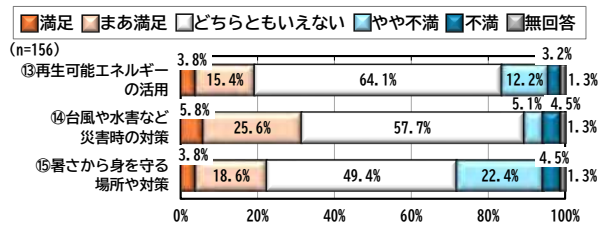
【問１】（２）自然・みどり



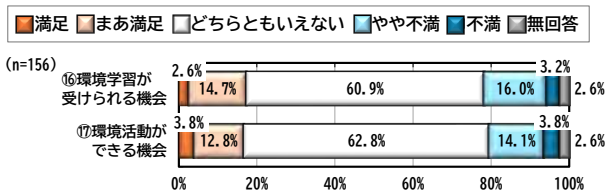
【問１】（３）資源循環



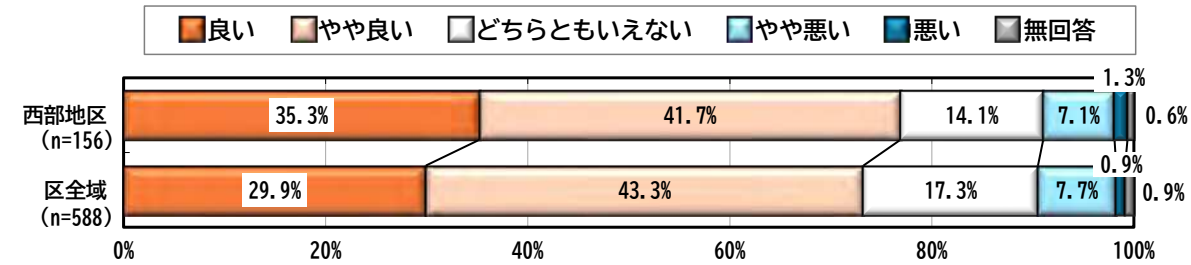
【問１】（４）気候変動対策



【問１】（５）環境学習・環境活動



【問３】環境に対する総合評価



※百分率（%）の表示は、小数第２位を四捨五入しているため、「良い＋やや良い」、「悪い＋やや悪い」の合計がグラフの合計と合わない場合があります。

年齢別で見た環境にやさしい行動の取組状況 【問5】

○ 「６０歳代」（１７項目）、「３０歳代」（１３項目）、「５０歳代」（１２項目）で全体値を上回る項目が多くなっています。年代によって取り組みやすい項目が異なることがうかがえます。
○ 若年層では「⑲再エネ電力」、高齢層では「㉓地域の環境活動」の実施率が高くなっています。

単位：％

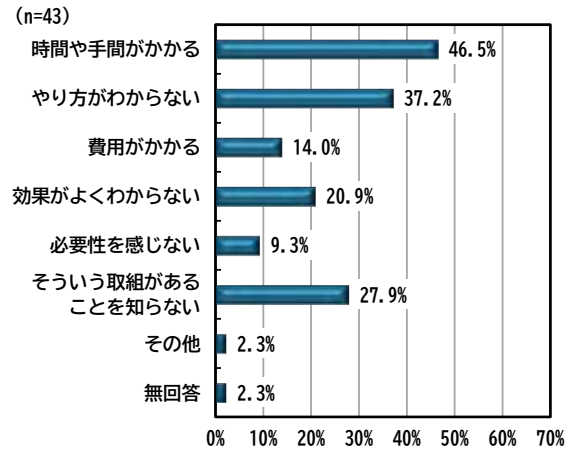
家庭でできる環境にやさしい行動	18～29 歳（n=43）	30～39 歳（n=53）	40～49 歳（n=103）	50～59 歳（n=112）	60～69 歳（n=95）	70 歳以上（n=162）	全体値（n=568）
①マイバッグを利用する	95.3	94.3	92.2	92.9	97.9	91.4	93.5
②環境ラベル、省エネラベルなどを参考に環境に優しい商品を購入する	60.5	49.1	57.3	62.5	63.2	68.5	62.0
③ものを大切にし、できるだけ長く使用する	95.3	98.1	92.2	94.6	96.8	94.4	94.9
④生ごみを減らすために食材は使いきる	81.4	92.5	91.3	92.0	94.7	93.2	91.9
⑤食品は必要な分だけ購入する	88.4	96.2	91.3	91.1	93.7	87.7	90.8
⑥飲食店では食べきれる量を注文する	97.7	96.2	98.1	98.2	98.9	90.1	95.8
⑦ごみの分別を徹底する	93.0	94.3	98.1	99.1	98.9	95.7	97.0
⑧びん・缶・ペットボトル・古紙などを資源回収に出す	95.3	98.1	99.0	98.2	97.9	96.3	97.5
⑨油や調理くずなど、汚水を流さないようにする	90.7	94.3	95.1	94.6	95.8	95.1	94.7
⑩洗濯に風呂の残り湯を使用するなど節水を心がける	37.2	34.0	27.2	34.8	43.2	53.1	40.1
⑪庭やベランダなどにみどりを植えたり、みどりのカーテンをつくる	34.9	24.5	38.8	50.9	68.4	72.2	54.0
⑫身近に生息しているいきものや植物を大切にする	88.4	86.8	85.4	82.1	83.2	85.8	84.9
⑬使用していない場所の照明はこまめに消す	93.0	94.3	95.1	94.6	96.8	92.6	94.4
⑭エアコンのフィルターを定期的に清掃する	62.8	77.4	79.6	85.7	85.3	83.3	81.3
⑮冷暖房を使用するときは温度設定に気をつける	88.4	96.2	94.2	96.4	90.5	91.4	93.0
⑯エコドライブを実践する	60.5	67.9	69.9	67.9	66.3	53.1	63.2
⑰車を使わず、徒歩、自転車、公共交通機関を利用する	95.3	88.7	90.3	92.9	92.6	86.4	90.3
⑱うちエコ診断など省エネ診断を受診する	11.6	15.1	8.7	7.1	14.7	15.4	12.1
⑲再生可能エネルギーの電力を電力会社から購入する	16.3	13.2	4.9	8.0	9.5	13.0	10.2
⑳風水害に備えて自宅周辺のハザードマップを確認し、マイ・タイムラインを作成する	32.6	39.6	35.9	30.4	31.6	27.8	31.9
㉑熱中症警戒アラートに備えて熱中症予防の情報を収集している	62.8	50.9	63.1	66.1	61.1	59.9	61.3
㉒環境に関するイベントや環境学習会、自然観察会などに参加し、環境について学ぶ	9.3	13.2	8.7	8.0	9.5	10.5	9.7
㉓地域の環境活動（町会・サークルなどが行う道路や公園などの清掃・緑化活動、ごみ減量やリサイクル活動など）に参加する	11.6	9.4	8.7	6.3	13.7	22.2	13.2

※ 表中の値は、「いつもしている」・「時々している」と回答した人の割合（％）を示しています。
また、網掛けは「全体値」よりも高い回答割合の区分を示しています。

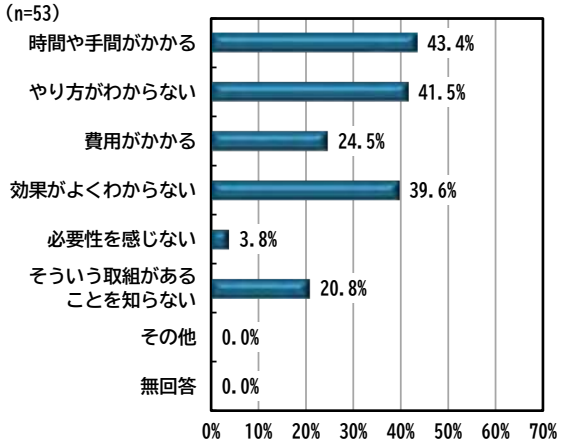
年齢別で見た環境にやさしい行動に取り組むことが難しい理由 【問6】

○ 「７０歳以上」を除くすべての年代で「時間や手間がかかる」の回答割合が最も高い結果でした。
○ 「やり方がわからない」が「７０歳以上」では最も回答割合が高く、その他の年代では２番目に高くなっています。
○ 「そういう取組があることを知らない」については、「１８～２９歳」、「７０歳以上」で回答割合が高くなっています。

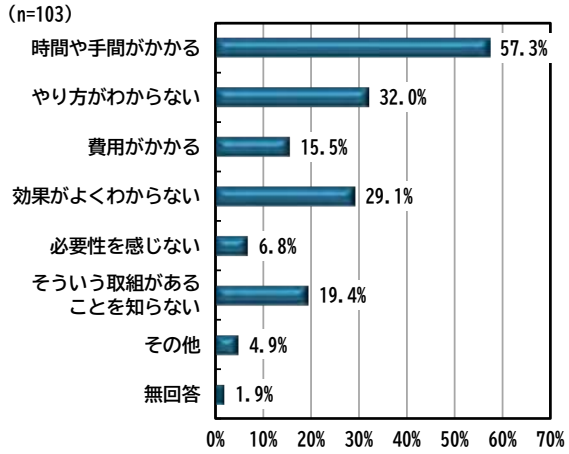
● １８～２９歳（n=４３）



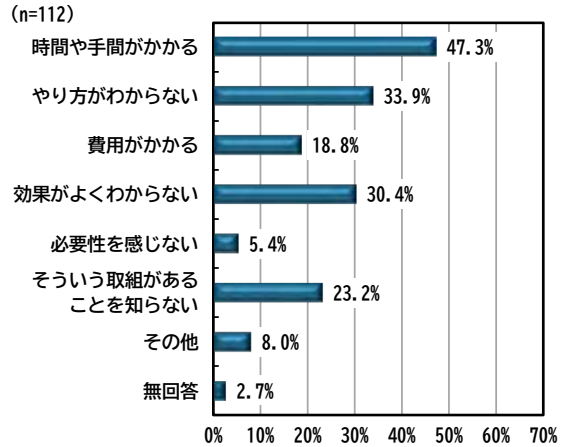
● ３０～３９歳（n=５３）



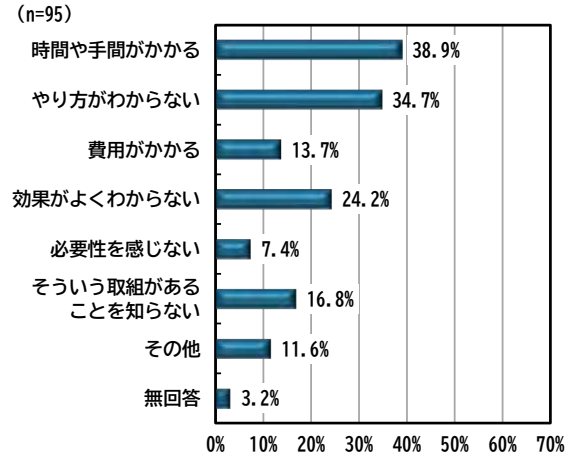
● ４０～４９歳（n=１０３）



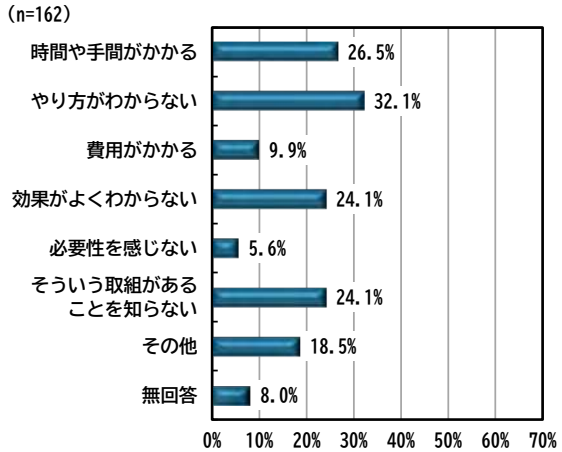
● ５０～５９歳（n=１１２）



● ６０～６９歳（n=９５）



● ７０歳以上（n=１６２）



住宅の種類別で見た環境にやさしい機器や設備などの導入状況 【問7】

○ 「一戸建て（持ち家）」が「蓄電池」を除くすべての項目で全体値を上回っています。「蓄電池」は「集合住宅（借家）・（持ち家）」が全体値を上回りました。
○ 住宅の種類別に応じてできる範囲で、購入・設置が進んでいることがうかがえます。
○ 建物や敷地に設置や取り付ける機器や設備について、借家でも導入されていることから、大家や集合住宅のオーナーなどへの情報提供や支援により、導入率向上につなげることが期待されます。

単位：％

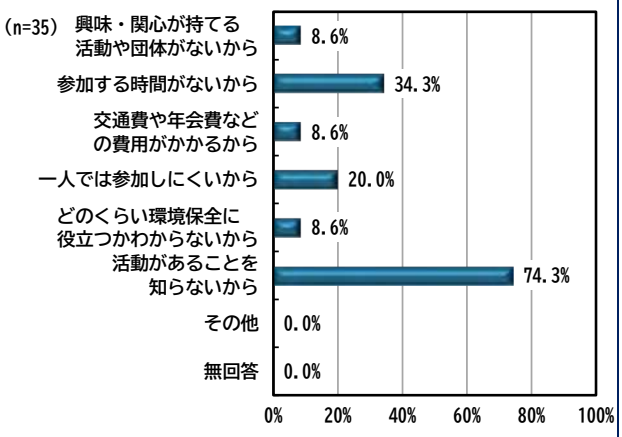
環境にやさしい機器や設備	一戸建て（持ち家）（n=248）	一戸建て（借家）（n=12）	集合住宅（持ち家）（n=151）	集合住宅（借家）（n=130）	社宅・寮（n=14）	その他（n=6）	全体値（n=568）
①LED電球や電球型蛍光灯	91.9	83.3	91.4	86.2	85.7	83.3	90.0
②省エネタイプの家電製品	83.5	66.7	78.1	70.8	78.6	83.3	78.3
③複層ガラスや二重サッシなどの断熱窓	50.4	16.7	40.4	20.8	7.1	16.7	38.4
④壁、床、天井などの断熱	50.8	8.3	33.8	16.9	7.1	16.7	35.6
⑤エコジョーズ、エコキュートなど高効率給湯器	45.6	8.3	35.1	12.3	14.3	33.3	32.9
⑥家庭用燃料電池システム（エネファーム）	8.5	0.0	4.6	5.4	7.1	0.0	6.3
⑦太陽光発電システム	7.7	8.3	4.0	3.8	0.0	0.0	5.5
⑧太陽熱利用システム	4.0	0.0	2.0	3.1	0.0	0.0	3.0
⑨蓄電池システム	6.0	0.0	6.6	7.7	0.0	0.0	6.2
⑩V2H（ヴィークルトゥホーム）	2.8	0.0	0.7	0.8	0.0	0.0	1.6
⑪HEMS（家庭用エネルギー管理システム）	4.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	1.9
⑫二酸化炭素を排出しない自動車（プラグインハイブリッド車・電気自動車・燃料電池自動車）	11.3	16.7	6.6	6.2	7.1	16.7	8.8
⑬ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）	3.6	0.0	1.3	0.8	0.0	0.0	2.1
⑭雨水流出抑制施設（浸透ます、浸透トレンチ）・雨水タンク	5.6	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	3.3

※ 表中の値は、「すでに購入・設置している」・「購入・設置を検討中」と回答した人の割合（％）を示しています。また、網掛けは「全体値」よりも高い回答割合の区分を示しています。

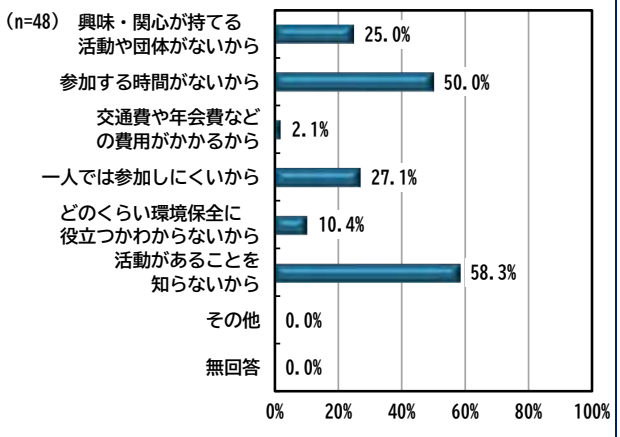
年齢別で見た区の取組に参加したことがない理由 【問10(イ)】

○ 全年代で「活動があることを知らないから」の回答割合が高くなっています。「３０歳代」から「６０歳代」まででは「参加する時間がないから」の回答割合が高くなっています。
○ 「３０歳代」と「６０歳代」以上で「一人では参加しにくいから」の回答割合が比較的高くなっています。

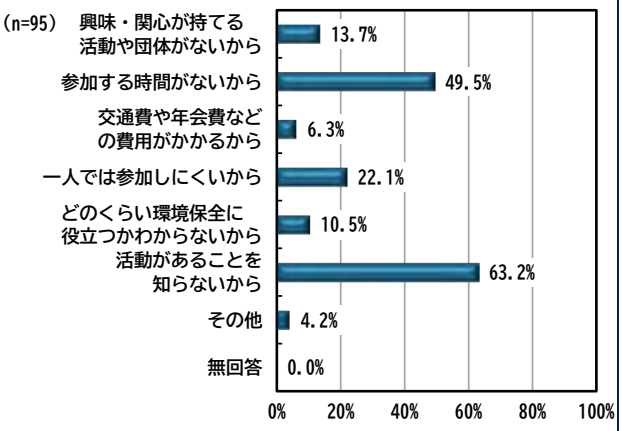
● １８～２９歳（n=３５）



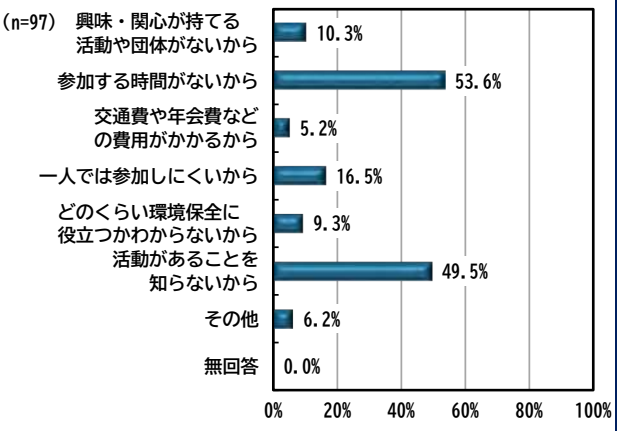
● ３０～３９歳（n=４８）



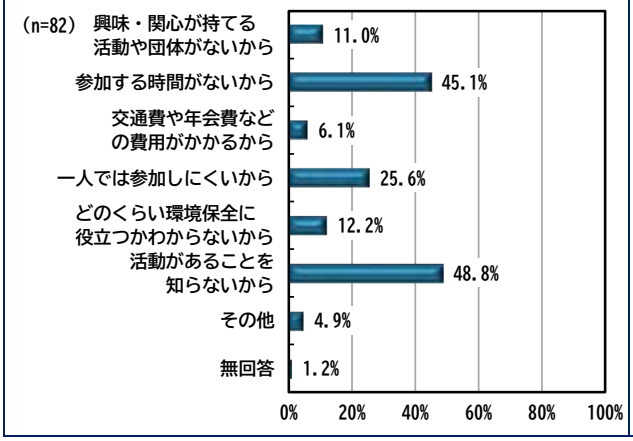
● ４０～４９歳（n=９５）



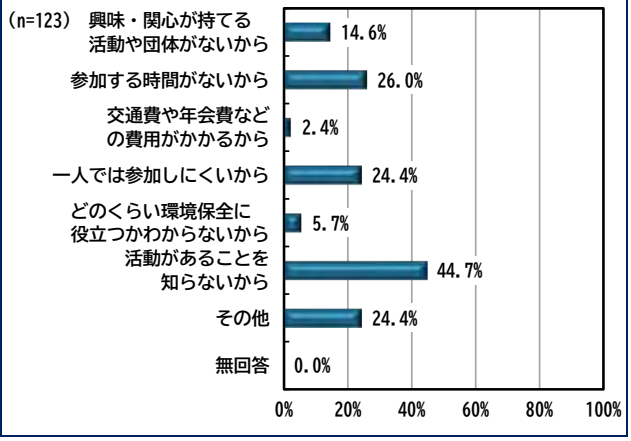
● ５０～５９歳（n=９７）



● ６０～６９歳（n=８２）



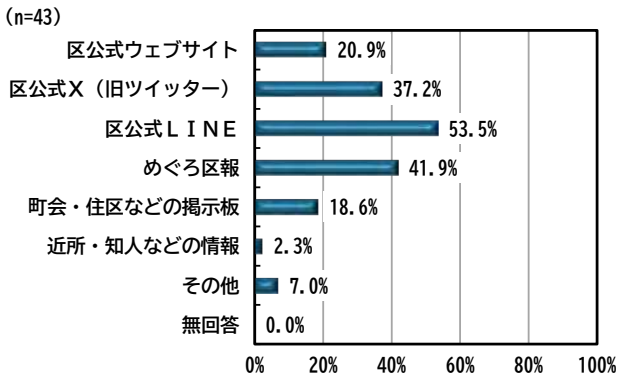
● ７０歳以上（n=１２３）



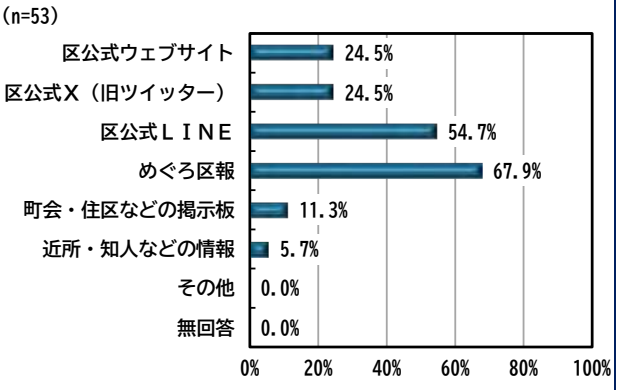
年齢別で見た利用しやすい情報媒体 【問12】

○ 「３０歳代」から「６０歳代」までで「めぐろ区報」と「区公式ＬＩＮＥ」の２つの利用意向が高くなっています。
○ 「１８～２９歳」では「区公式ＬＩＮＥ」、「めぐろ区報」、「区公式Ｘ（旧ツイッター）」の利用意向が高くなっています。一方、「７０歳代以上」では「めぐろ区報」、「町会・住区などの掲示板」の利用意向が高くなっています。

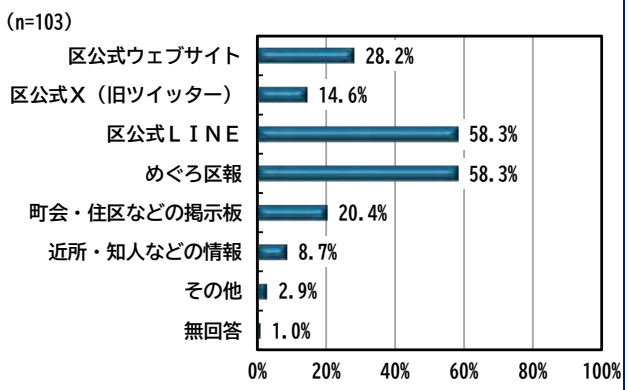
● １８～２９歳（n=４３）



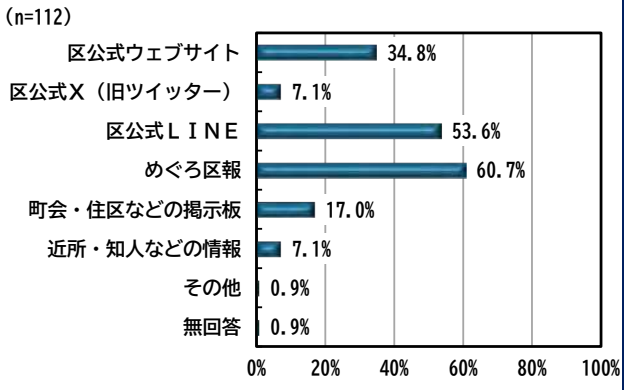
● ３０～３９歳（n=５３）



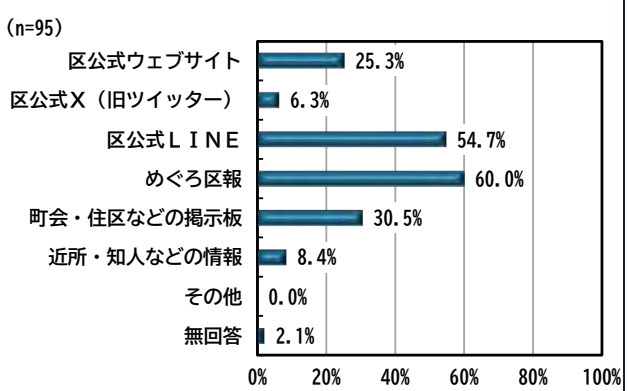
● ４０～４９歳（n=１０３）



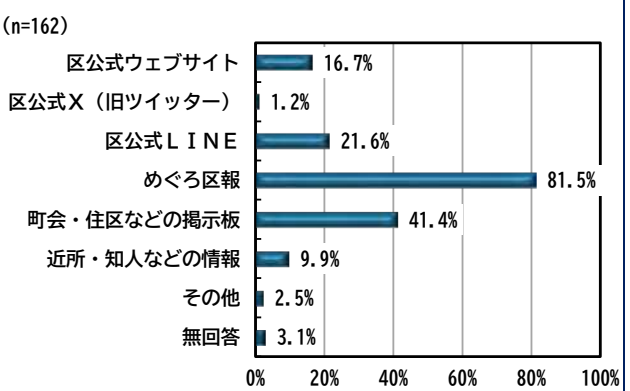
● ５０～５９歳（n=１１２）



● ６０～６９歳（n=９５）



● ７０歳以上（n=１６２）

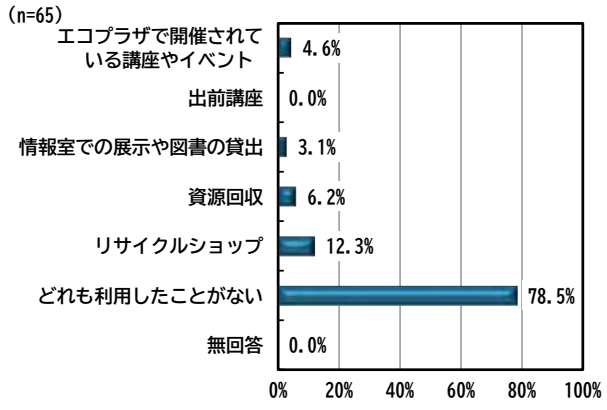


地区別・年齢別で見たエコプラザの利用状況 【問13】

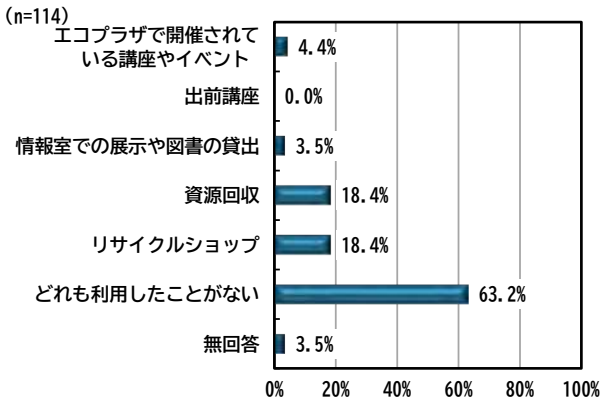
（ア）利用したことがあるエコプラザの取組（地区別）

○ 「東部地区」にお住まいの方の利用率が高くなっています。「北部地区」、「西部地区」、「中央地区」にお住まいの方は「利用したことがない」の回答割合が高くなっています。
○ 「出前講座」については、「東部地区」と「北部地区」にお住まいの方の利用がありませんでした。

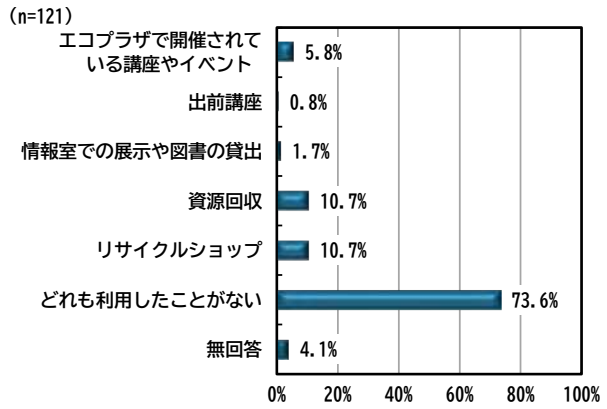
● 北部地区（n=６５）



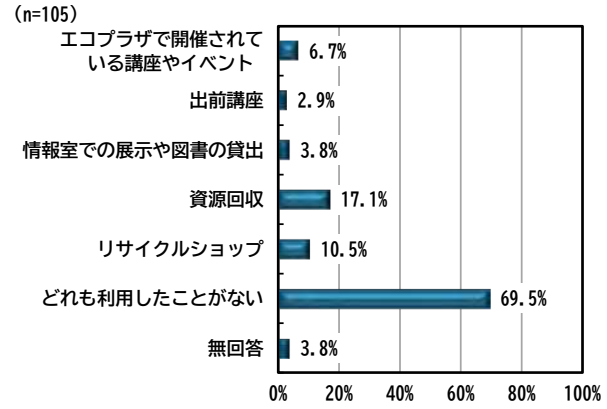
● 東部地区（n=１１４）



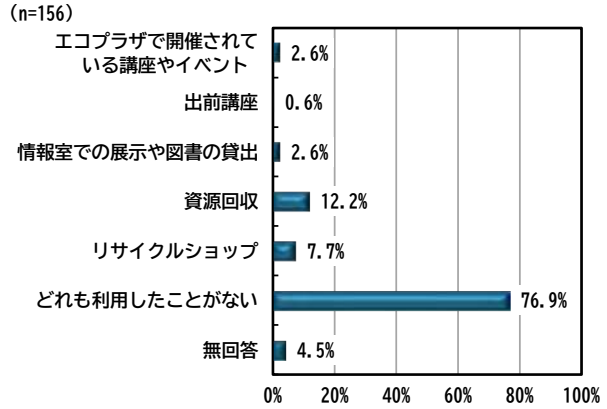
● 中央地区（n=１２１）



● 南部地区（n=１０５）



● 西部地区（n=１５６）

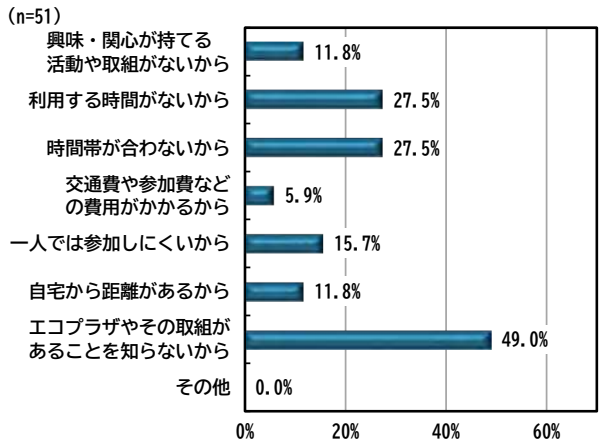


●目黒区エコプラザのある田道ふれあい館●

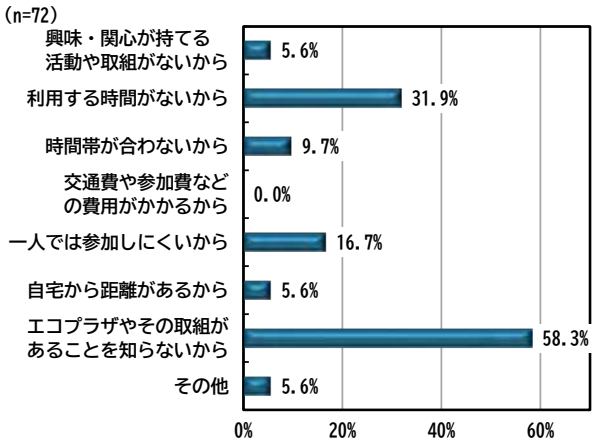
（イ）エコプラザの取組を利用したことがない理由（地区別）

○ 全地区において「エコプラザやその取組があることを知らないから」と回答した割合が最も高くなっています。

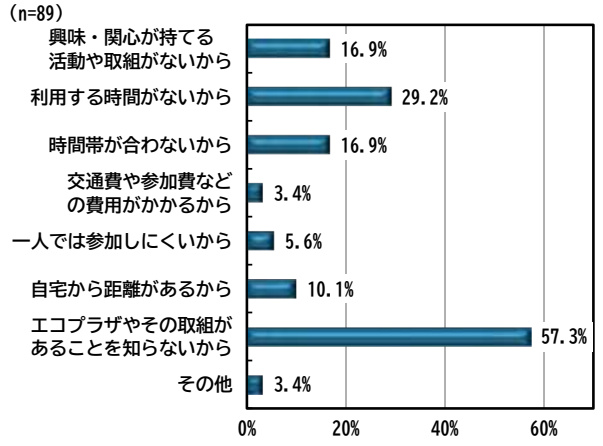
● 北部地区（n=５１）



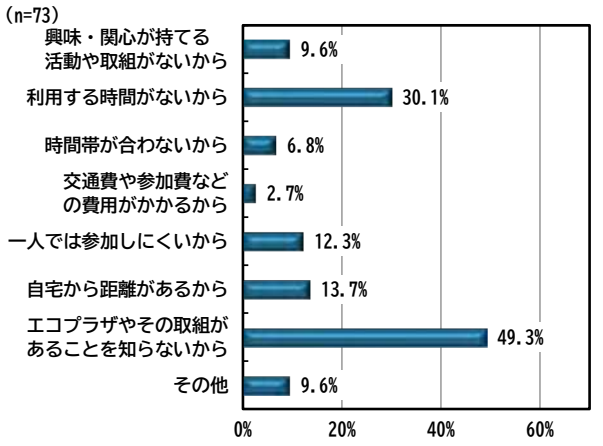
● 東部地区（n=７２）



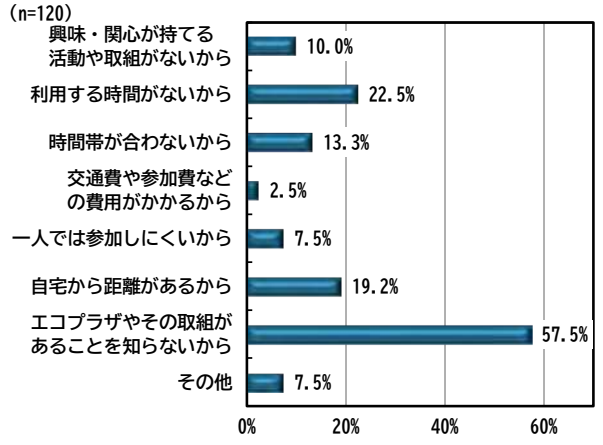
● 中央地区（n=８９）



● 南部地区（n=７３）



● 西部地区（n=１２０）

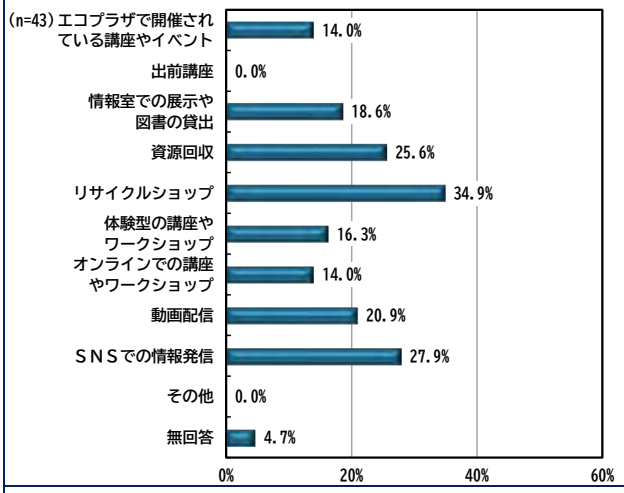


●目黒区エコプラザの所在地●

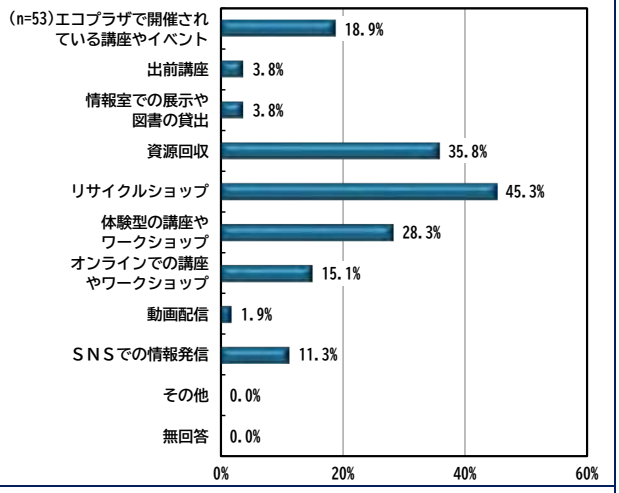
（ウ）興味のあるエコプラザの取組（年齢別）

○ すべての年代で「リサイクルショップ」と「資源回収」の回答割合が高くなっています。
○ 次いで、「１８～２９歳」では「ＳＮＳでの情報発信」や「動画配信」、「展示や図書の貸出」の回答割合が他の年代と比較して高くなっています。「３０歳代」から「５０歳代」では「体験型の講座やワークショップ」の回答の割合が、「６０歳代」では「エコプラザで開催されている講座やイベント」の回答割合が高くなっています。

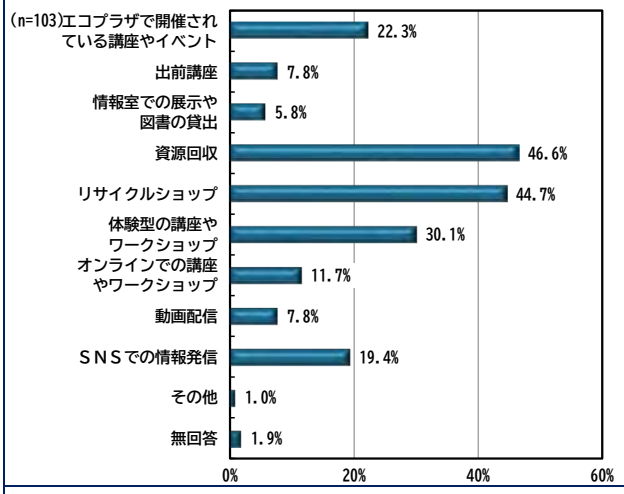
● １８～２９歳（n=４３）



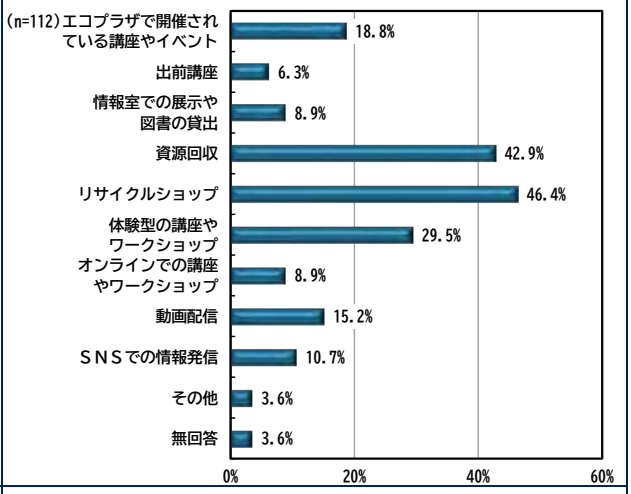
● ３０～３９歳（n=５３）



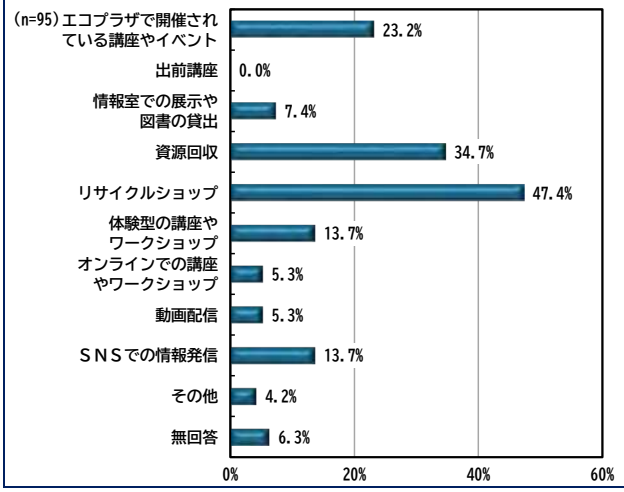
● ４０～４９歳（n=１０３）



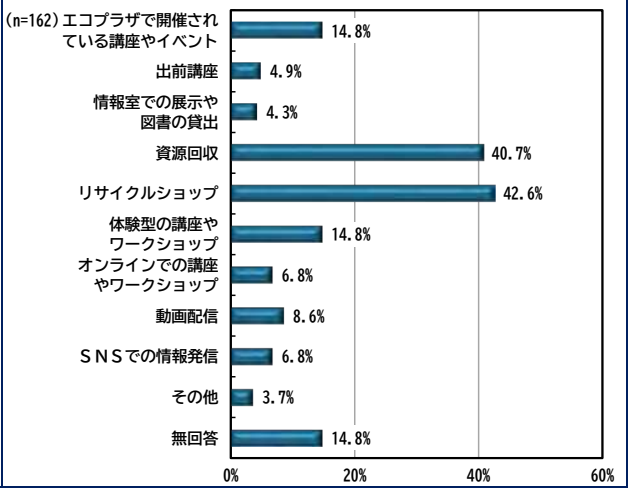
● ５０～５９歳（n=１１２）



● ６０～６９歳（n=９５）



● ７０歳以上（n=１６２）



区の身近な環境や目黒区の環境行政に関する自由記述（意見・提案など）

【回答数：１９４件、延べ回答件数：２６０件】

目黒区環境基本計画の基本方針	件数	意見の分類	件数
１　レジリエントなまち カーボンニュートラルの未来をつくる	２９	ライフスタイルの省エネルギー化・脱炭素化の促進	２
		積極的な再生可能エネルギーの活用	１
		脱炭素型まちづくりの推進	１７
		気候変動適応策の推進	９
２　資源が循環するまち ものを大切にして資源が循環する未来をつくる	４７	３Ｒの取組の推進	２３
		ごみの適正処理の徹底	２４
３　みどりを感じるまち 身近なみどりをはぐくみ、みどり豊かな未来をつくる	５５	自然環境の保全・みどりの創出と質の向上	４８
		都市の生物多様性の確保	７
４　快適に暮らせるまち 健康で安心して快適に暮らせる生活環境の未来を守る	５２	安全・安心な生活環境の確保	２３
		清潔で美しいまちの維持	２９
５　パートナーシップで取り組むまち みなが環境を知り、学び、行動する未来をつくる	１５	継続的な環境教育と学習機会の充実	１
		環境活動の支援	１４
その他	６２	環境全般について	１６
		環境以外の区の施策や行政について	３９
		その他	７

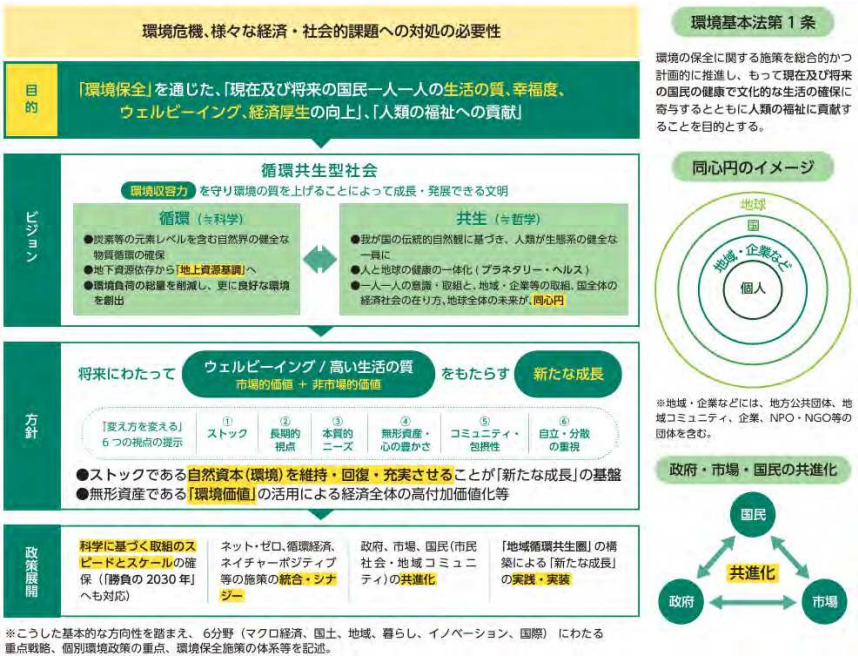
環境行政をめぐる動き

主な国内外の動向

第六次環境基本計画の策定

２０２４（令和６）年５月に国の第六次環境基本計画が閣議決定されました。気候変動、生物多様性の損失及び汚染という３つの危機への強い「危機感」に基づき、地上資源を基調とし、無形の価値、心の豊かさをも重視した「循環・高付加価値型の経済社会システム」への転換が必要との考え方から、計画が目指すべき最上位の目的として、「現在及び将来の国民一人一人の生活の質、幸福度、ウェルビーイング、経済厚生の向上」が位置付けられました。

●第六次環境基本計画の基本的な考え方（第一部）●



出典：環境省「令和６年版 環境・循環型社会・生物多様性白書」

目黒区の環境行政の歩み

めまぐるしく変化している環境をとりまく状況に応じて、区では世界や国、都の動向にあわせ、次頁の表に示すような取組を進めてきました。

年度	区の動き	★:世界の動き　●:国の動き　○:東京都の動き
2009 (平成21)年度	「目黒区景観計画」策定 「目黒区地球温暖化対策推進実行計画（めぐろエコ・プラン）」策定	○「東京都地球温暖化対策指針」改正 ○「東京都エネルギー有効利用指針」制定
2010 (平成22)年度	「目黒区総合治水対策基本計画」改定 「目黒区環境学習推進計画」改定	★COP－CBD※1 10開催 （「名古屋－クアラルンプール補足議定書」、「愛知ターゲット」、「名古屋議定書」採択） ○「首都圏キャップ＆トレード制度」協定締結 ○「緑確保の総合的な方針」策定
2011 (平成23)年度	**「目黒区環境基本計画」改定（重点プロジェクトの変更など）** 「目黒区景観計画」改定	★COP－FCCC※2 17開催

年度	区の動き	★:世界の動き ●:国の動き ○:東京都の動き
2012 (平成24)年度	−	★COP−FCCC18開催 ★国連持続可能な開発会議(リオ+20)開催 ●「第四次環境基本計画」閣議決定 ●「生物多様性国家戦略2012−2020」閣議決定 ●「都市の低炭素化の促進に関する法律」制定 ○「緑施策の新展開～生物多様性の保全に向けた基本戦略～」策定
2013 (平成25)年度	「目黒区地球温暖化対策推進第二次実行計画(めぐろエコ・プランⅡ)」改定 「目黒区地球温暖化対策地域推進計画(第二次計画)」改定 「目黒区環境学習実行プラン」改定 「ささえあう生命の輪(いのちのわ)野鳥のすめるまちづくり計画」策定	★IPCC(気候変動に関する政府間パネル)が「第5次評価報告書」の第1作業部会報告書、第2作業部会報告書を公表 ★「水銀に関する水俣条約」採択 ●「地球温暖化対策推進法」改正 (三フッ化窒素《NF_3》の温室効果ガスへの追加など) ●「第三次循環型社会形成推進基本計画」閣議決定 ●「Jクレジット」制度の発足
2014 (平成26)年度	−	★持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議開催 ★IPCC(気候変動に関する政府間パネル)が「第5次評価報告書」の第3作業部会報告書を公表 ★「名古屋議定書」発効 ●「水循環基本法」制定 ●「外来種被害防止行動計画」策定 ○「東京都長期ビジョン」策定
2015 (平成27)年度	「目黒区みどりの基本計画」改定 「目黒区一般廃棄物処理基本計画～快適で誇りのもてる循環型のまち～」改定	★COP−FCCC21開催「パリ協定」採択 ★国連持続可能な開発サミット開催(「持続可能な開発のための2030アジェンダ」採択) ●「建築物省エネ法」制定 ●「水銀による環境の汚染の防止に関する法律」制定 ●「気候変動の影響への適応計画」閣議決定 ○「東京都環境基本計画」改定 ○「緑確保の総合的な方針」改定
2016 (平成28)年度	**「目黒区環境基本計画」改定 (重点的に取り組むテーマの設定など)**	★COP−FCCC22開催「パリ協定」発効 ●「地球温暖化対策計画」閣議決定
2017 (平成29)年度	−	★「水銀に関する水俣条約」発効
2018 (平成30)年度	「目黒区地球温暖化対策推進第三次実行計画(めぐろエコ・プランⅢ)」改定	●「第五次環境基本計画」閣議決定 ●「気候変動適応法」制定 ●「気候変動適応計画」閣議決定 ★IPCC(気候変動に関する政府間パネル)が「1.5℃特別報告書※3」を公表
2019 (令和元)年度	−	●「フロン排出抑制法」改正 ●「食品ロス削減推進法」制定 ○「ゼロエミッション東京戦略」策定
2020 (令和2)年度	「目黒区使い捨てプラスチック削減方針」策定	●菅総理所信表明により、2050年までに脱炭素社会の実現を目指すことを宣言
2021 (令和3)年度	「2050年ゼロカーボンシティ」表明	●「地球温暖化対策推進法」改正 ★IPCC(気候変動に関する政府間パネル)が「第6次評価報告書」の第1作業部会報告書を公表 ★COP―FCCC26「グラスゴー気候合意」 ●「地球温暖化対策計画」改定 ●「気候変動適応計画」改定 ●「プラスチック資源循環促進法」制定
2022 (令和4)年度	**「目黒区環境基本計画」改定 (目黒区地球温暖化対策地域推進計画、地域気候変動適応計画を包含)**	★「昆明・モントリオール生物多様性枠組」採択 ★IPCC(気候変動に関する政府間パネル)が「第6次評価報告書」統合報告書を公表 ●「生物多様性国家戦略2023−2030」策定 ●「省エネ法」、「建築物省エネ法」改正 ○「東京都環境基本計画」改定、環境確保条例改正
2023 (令和5)年度	「目黒区一般廃棄物処理基本計画」改定 「目黒区地球温暖化対策実行計画(事務事業編)(第三次計画)(めぐろエコプラン 3)」中間見直し	★COP―FCCC28「2030年再エネ3倍、エネルギー効率2倍目標等」合意 ●「熱中症対策実行計画」法定計画に格上げ、閣議決定 ●「自然共生サイト」認定制度の開始

※1 COP−CBD…生物多様性条約締約国会議。 ※2 COP−FCCC…気候変動枠組条約締約国会議。
※3 「1.5℃特別報告書」…気候変動の脅威への世界的な対応の強化、持続可能な発展及び貧困撲滅の文脈において工業化以前の水準から1.5℃の気温上昇にかかる影響や関連する地球全体での温室効果ガス(GHG)排出経路に関する特別報告書。

環境保全の施策に要した主な経費

２０２３（令和５）年度の区の環境保全の施策の要した主な経費は以下のとおりです。

基本方針1 レジリエントなまち カーボンニュートラルの未来をつくる　（単位：千円）

事業名	事業の内容	経　費
地球温暖化対策事業	【普及・啓発事業】 再生可能エネルギー・省エネルギー設備設置費助成、地球温暖化対策啓発事業、めぐろエコプラン３中間見直しなど	４１，９６３
総合治水対策の推進	雨水浸透桝３か所、透水性舗装３５８m^2	２１，８６９

基本方針2 資源が循環するまち ものを大切にして資源が循環する未来をつくる　（単位：千円）

事業名	事業の内容	経　費
ごみ減量化のための普及啓発	プラスチック削減、食品ロス削減、めぐろ買い物ルール、環境学習、ＭＧＲ１００プロジェクト、２Ｒ推進	６，８０１
拠点回収事業	回収量（乾電池１９ｔ、紙パック４ｔ、小型家電６ｔ）	６，７８６
分別回収の推進事業	回収量 （びん２，７６６ｔ、缶７４４ｔ、ペットボトル１，１７６ｔ、資源プラスチック１，６８６ｔ、蛍光管など１１ｔ）	１，０９５，８２１
古紙回収（行政回収分）	古紙回収量２２７ｔ	４８，５５９
資源回収活動支援	資源回収活動実施団体支援３２９団体 資源回収量（古紙など）１０，３５６ｔ	４１，４２４

基本方針3 みどりを感じるまち 身近なみどりをはぐくみ、みどり豊かな未来をつくる　（単位：千円）

事業名	事業の内容	経　費
公園・緑道等の整備	公園リノベーション工事（１か所） 緑道リノベーション工事（１か所）	７４，５７２
みどりのまちなみ助成	接道部緑化１７件、屋上・壁面緑化４件、 保存樹木等助成２８２件	１０，４０７
グリーンクラブ事業	花苗配布などの支援９７団体	５，８１４

基本方針4 快適に暮らせるまち 健康で安心して快適に暮らせる生活環境の未来を守る　（単位：千円）

事業名	事業の内容	経　費
環境調査	大気汚染常時監視、幹線道路の自動車公害調査、目黒川水質調査、光化学スモッグ対策、幹線道路沿いにおける窒素酸化物調査、地下水調査、一般大気中アスベスト調査、一般環境大気中のダイオキシン類調査委託、目黒川臭気分析委託など	１３，７１３
ポイ捨て、落書き対策	ポイ捨て禁止キャンペーン、落書き消去活動支援	１０４
犬のふん放置等に対する普及啓発	飼い主へのマナー啓発プレート配布	２１０
路上喫煙対策	路上喫煙禁止区域のパトロール、路上シート作成設置、指定喫煙所維持管理、屋内型喫煙施設整備費補助など	３８，２７０

基本方針5 パートナーシップで取り組むまち みなが環境を知り、学び、行動する未来をつくる（単位：千円）

事業名	事業の内容	経　費
目黒区エコプラザ運営管理	環境推進員養成講座、リサイクルショップ、図書貸出しなど	２７，１７６

用語集

用語	説明	初出頁
温室効果ガス	太陽光線によって暖められた地表面から放射される赤外線を吸収し、大気を暖め、一部の熱を再放射して地表面の温度を高める効果をもつガス。二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素など。	1
レジリエント	弾力や柔軟性があるさまを意味し、「レジリエントなまち」とは、自然災害などで都市機能が壊れにくく、さらに都市機能が壊れてしまってもすぐに回復する強さ（しなやかさ）を持った「まち」のことをいう。	2
再生可能エネルギー	太陽光発電、風力発電などの自然エネルギーや廃棄物による発電など、石油代替エネルギーとなるもの。	3
ヒートアイランド	都心域の気温が郊外に比べて高くなる現象で、等温線を書くと島状に見えるためヒートアイランド（熱の島）といわれる。人工排熱（空調排熱や自動車からの排熱）の増加や、自然地（土、水面、緑地等）の減少が原因で引き起こされる。	3
3R（リデュース・リユース・リサイクル）	3R（スリーアール）とは、リデュース（発生抑制：ごみの発生、資源の消費をもとから減らす）、リユース（再使用：くり返し使う）、リサイクル（再生利用：資源として再び利用する）のこと。	3
ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）	住宅の高断熱化と高効率設備により、快適な室内環境と大幅な省エネルギーを同時に実現した上で、太陽光発電などによってエネルギーを創り、年間に消費する正味（ネット）のエネルギー量が概ねゼロとなる住宅のこと。	6
ZEV（ゼロ・エミッション・ビークル）	走行時に二酸化炭素等の排出ガスを出さない電気自動車（EV）、燃料電池自動車（FCV）、プラグインハイブリッド自動車（PHV）のこと。	6
保水性舗装	空隙を多くしたアスファルトの中に保水材を充填した構造で、降雨により浸み込んだ水が蒸発する際の気化熱を利用した路面温度の上昇を抑制する舗装。	6
遮熱性舗装	路面に太陽光の赤外線を反射する遮熱材を塗布した、路面温度の上昇を抑制する舗装。	6
V2H（ビークル・トゥ・ホーム）	ZEV（ゼロ・エミッション・ビークル）に蓄えた電力を家庭で利用するシステムのこと。利用するためには V2H 対応の電気自動車、電気自動車に蓄電している直流電力を家庭で使用可能な交流電力に変換する EV 用パワーコンディショナーが必要となる。	7

用語	説明	初出頁
マイ・タイムライン	住民一人ひとりのタイムライン（防災行動計画）であり、主に台風等の接近による大雨によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、自ら考え命を守る避難行動のための一助とするもの。	8
カーボンフットプリント	商品やサービスの原材料調達から廃棄・リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通して排出される温室効果ガスの排出量を CO_2 に換算して、商品やサービスに分かりやすく表示する仕組み。	9
HEMS（家庭用エネルギー管理システム）	一般住宅において、太陽光発電の量、売電・買電の状況、電力消費量、電力料金などを一元管理するシステム。	10
カーボン・オフセット	温室効果ガス排出量のうち、どうしても削減できない量の全部又は一部を他の場所での排出削減・吸収量でオフセット（埋め合わせ）すること。	10
フードドライブ	家庭にある余剰食品を回収しフードバンク等を通じて支援を必要とする個人や団体に寄付する取組。	14
循環経済（サーキュラーエコノミー）	従来の 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取組に加え、資源投入量・消費量を抑えつつ、ストックを有効活用しながら、サービス化等を通じて付加価値を生み出す経済活動。	16
河床整正・浚渫（しゅんせつ）	河床をならし、堆積した土砂を取り除くこと。	20
ビオトープ	いきものたちの生息する場所のことをいい、森林、湖沼、草地、河川、湿地、干潟等が代表的な例。身近なところでは、多様ないきものたちが形作る小さな生態系をビオトープとして捉えている。	21
エコロジカルネットワーク	人と自然の共生を確保するため、生態的なまとまりを考慮した上で、自然地域を有機的に繋いだ生態系のネットワークのこと。ネットワークの形成により、野生生物の生息・生育空間の確保、人と自然とのふれあいの場の提供、地球温暖化防止など、多面的な機能が発揮されることが期待される。	22
ZEB（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）	建築構造や設備の省エネルギー、再生可能エネルギー・未利用エネルギーの活用、地域内でのエネルギーの面的（相互）利用の対策をうまく組み合わせることにより、エネルギーを自給自足し、化石燃料などから得られるエネルギー消費量がゼロ、あるいは、概ねゼロ、となる建築物のこと。	36

より詳しい情報を知りたい方のために…

・環境調査報告書

基本方針４で報告した大気・水質などに関する環境調査結果を詳細に掲載した報告書です。２０２４（令和６）年度版は、１０月頃の発行を予定しています。

WEB　トップページ＞行政情報＞統計・調査・報告＞調査・報告＞環境調査報告書

・環境保全施策実施状況一覧表

区の環境保全施策実施状況をまとめたものです。

WEB　トップページ＞行政情報＞統計・調査・報告＞調査・報告＞目黒区環境報告書（めぐろの環境）

ご意見・ご感想をお聞かせください

２０２４（令和６）年度版めぐろの環境（環境報告書）をお読みいただきありがとうございました。

今後の環境報告書づくりの参考にしていきますので、ご意見・ご感想などをお聞かせください。

〔 宛て先 〕目黒区 環境清掃部 環境保全課 環境計画係

電　話：０３－５７２２－９３５６　ＦＡＸ：０３－５７２２－９４０１

Email：kankyo01@city.meguro.tokyo.jp

２０２４めぐろの環境

（令和６年度版 環境報告書）

発 行 日　２０２４（令和６）年９月発行
発 行 者　目黒区
編集部署　目黒区環境清掃部環境保全課
東京都目黒区上目黒２丁目１９番１５号
電話　０３－５７２２－９３５６（直通）
編集協力　株式会社ナレッジリーン